

取組項目 (第５期計画原案の取組番号と取組名)	取組の概要	R４年度取組状況 (いつ、どこで、何を、回数、人数等)	R５年度計画 (いつ、どこで、何を、回数、人数等)	今後の課題
４ 障害者（児）・その家族が集う場の開設・拡充・情報提供 (重点取組項目)	現在、地区部会で行っている障がい者施設への慰問訪問、施設行事への参加等の中で、障がい者（児）・その家族の状況を把握し、必要としている情報や関係機関を紹介する。 また、障がい者（児）を介護する家族が交流できる場や地域住民と交流する機会を設け、その家族を支援する体制づくりに努める。	6/19 打合せ（16 名参加） 年度事業計画の討議、確認 7/17 打合せ（14 名参加） 障がい者施設の行事のお手伝い及び参加については、各施設よりコロナ禍であり規模縮小実施のため、お手伝い等不要の返事が届いているので今年度は行わないこととした。 10/1 打合せ（16 名参加） 障がい者施設の作業手伝いについては、作業所よりコロナ禍で受け入れ不可の連絡を受け、手伝いなしとした。 11/2 障がい者施設の見学、慰問の実施 2 施設、参加者 10 名 各施設の責任者より説明を受けたのち、施設内での作業、活動状況を見学する。 1/23・打合せ（8 名参加） 知的障がい疑似体験講座開催準備 ・5 施設への慰問品贈呈を行う コロナ感染予防を考慮し、8 名を 2 グループに分けて各施設を訪問し、玄関先で慰問品の贈呈を行った。 2/4 知的障がい疑似体験講座開催 講師：キャラバン隊「ららら」のメンバー 参加者：27 名	・障がい者、障がい者施設等に関する講座、学習会の開催 ・障がい者施設の見学、慰問の実施 ・障がい者施設の行事手伝い及び参加 ・障がい者施設への慰問品の贈呈	障がい者（児）が「集う場の開設」については、緑区地域福祉計画に沿った計画であり、今後の課題とする。
16 見守り活動の推進 (重点取組項目)	令和４年度現在、当地区部会地域内における見守り活動団体は 3 団体（内 1 団体は休止中）であるが、これを毎年最低 1 団体増やしていく。	活動中の見守り団体の役員に委員会へ参加いただき、活動内容の紹介をもらった。 今年度、見守り団体の新設はなかった。	見守り活動未実施の 23 町内自治会へ活動の必要性を呼びかけ、新たな地域での活動を推進していく。	

取組項目 (第５期計画原案の取組番号と取組名)	取組の概要	R４年度取組状況 (いつ、どこで、何を、回数、人数等)	R５年度計画 (いつ、どこで、何を、回数、人数等)	今後の課題
１ 情報の収集と共有化 ２ 子ども達の集い、情報提供 ３ 高齢者が集う場の提供 ４ 障害者（児）と家族が集う場 ５ 子育て中の親や子ども集う場	１ 住民が地域でどのようなふれあいの機会 ２ 子ども会や親父の会等通じて行事に参加 ３ ふれあい・いきいきサロン拡大、スポーツ活用 ４ 障害者施設への協力と慰問、家庭の継り ５ 保健福祉センターやあんしんケアセンターとの提携	１ 地区連として毎月代表者会議を開き話し合う、千葉市や緑区での会合、情報を共有化した ２ 毎年行うかかし作りや元旦マラソン、昔遊び ３ いきいきサロン増設も難しく自治会館利用 ４ 毎年施設行事応援参加と慰問品届け ５ 町会等に相談があれば福祉関係に連絡	１ 代表者は１２名２ヶ月に１度２６町会長会合、議事録にて各町会長にも話を伝えていく ２ かかしアート１７体・元旦マラソン実施・放課後教室 ３ 誉田１丁目中心に高齢者の集い、腹話術等開催 ４ 施設だけではなく家庭にいる子どもとの関係、どうしたら街に出てくれるか、民生委員の協力 ５ 各町会で検討して会合で話し合う	１ 役員の高齢化に伴い若人の意見の取入れ ２ ボランティアが少なく学校役員協力要請 ３ お茶飲み、憩いの場、情報交換の場所作り ４ 町内自治会だけでは情報が入りにくく民生委員との打合せを要する ５ 各地区で異なるため難しい
６ 地域行事への積極的参加 ７ 子ども会の活性化 ８ 老人クラブの活性化 ９ 町内自治会の活性化 １０ 地域活動の場の確保	６ 地域住民一体となり地域行事の参加呼掛 ７ 住民全体で「子どもは地域で育てる」 ８ 高齢者が仲間づくりの輪広げて行く ９ 町内自治会への参加促進地域活動 １０ 地域で行う行事や活かし合える場の確保	６ 誉田地区スポーツ振興会の運動会はコロナ感染中止 ７ カカシ作りは竹切りから作品作り迄大人が指導、一昨年から青少年育成委員から補助、表彰する ８ いきいきプラザ等利用してクラブ増をした ９ 町内自治会加入の魅力が出せない １０ 地域で行う活動の場が少ない、学校開放も	６ 誉田地区運動会今年は開催また町内会主催盆踊りも地区連として協力、マラソン大会も実施 ７ ５年度も７月に誉田中も参加で１７体約６０人参加 ８ 高田ニュータウン子ども参加すれば資金、場所探し、老人クラブを地域で作っていききたいが、名簿等なく声掛けも出来ていない、自治会で協力 ９ 役員が廻って来ると辞める、新住民の未加入 １０ 親睦会等を増加し話し合う場拡大、町会防災	６ 高田ニュータウン６８４世帯の若い人達を取組んでいくか、また高齢者と若人の違い ７ 誉田小体育館借用も今後増えれば会場無、人数増は嬉しいが役員と資金問題 ８ 高齢化は進んでいるが表に出たがらない、町会等での補助金も考える ９ マンション自治会と管理組合の統一等も、退会者に再度呼び掛け、新入居者の獲得
１１ 生活環境の整備 １２ 防災訓練の充実、体制整備 １３ 災害ボランティア活動充実 １４ 身近な防犯、安全対策 １５ 助け合い活動の推進等	１１ 高齢者や障害者の生活環境整備について １２ 各町内自治会に備蓄倉庫、各家庭にも備蓄求め １３ 災害時に活動するボランティアに日頃より講習 １４ 千葉南警察署管内に防犯協会を５ブロックに分けて毎日パトロールを実施、ステッカー作成 １５ 日常生活の困りごと、買物、通院等への協力	１１ 毎年行政へ誉田駅前広場や歩道の整備 １２ 誉田地区には５ヶ所の避難会場有り、責任者と学校との連携を密に訓練を年１回行う １３ 町会単位で防災訓練を行っている所が少ない １４ 各町内会で防犯パトロール隊のある所はパトロール実施、又パトロール車での実施は別途 １５ バス路線が廃止になり移動販売や乗り合いタクシー等をスタートの実施計画	１１ 誉田駅南口の整備や歩行者専用道路要求 １２ 避難所運営委員会を各会場に組織、総責任者をおき、全体を見る体制づくり １３ 町内自治会単位での防災訓練の呼びかけ １４ 町内会だけでなく学校にも協力要請して警察官と共にパトロール又青少年育成委員会も行う １５ 平川町や高田町等バス路線廃止で買物や通院に困っている、移動販売・乗り合いタクシー	１１ 老人や障がい者も安心して歩ける歩道整備 １２ 避難所運営委員会の町会はあまり委員を変更しないが、行政は２年が限度を考える １３ 高齢化が進み訓練に対しどの様にするか １４ 誉田中学校育成委員会と先生方にも参加頂き年２回実施を増やしていく、当然町内会も １５ 益々高齢化している町に乗り合いバスの検討、施設の送迎バスの利用等

取組項目 (第5期計画原案の取組番号と取組名)	取組の概要	R4年度取組状況 (いつ、どこで、何を、回数、人数等)	R5年度計画 (いつ、どこで、何を、回数、人数等)	今後の課題
16 見守り活動の推進 17 健康づくり支援 18 地域の課題解決への連携 19 自宅療養中の家庭への支援 20 ボランティアの確保	16 一人暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯、障害のある方の見守り希望する人に対し地域住民の助け 17 健康を保持するためウォーキングやラジオ体操 18 地域の関係団体、機関が連携し解決へ 19 高齢者を介護する家族の日常生活支援 20 地域住民の協力がなければ無理(子どもが学校に通う人は協力してくれる)	16 一人暮らしの高齢者や障害者が本人から助けを求めない限り町内会は出来ないが数人助けた 17 スポーツクラブ等タイアップしてスポーツに参加を呼び掛けや朝のラジオ体操、ウォーキングへの誘い 18 萱田地区では6団体で構成しているが、問題解決よりも分担金だすけは互い出来る 19 中々本人から助けなくたまたま見かけた時の声かけ、私共自治会では車の手配と病院への付き添い 20 子どもが学校に通っている親は協力してくれる人が多い	16 脳梗塞等で倒れた人に助けを求められた場合は協力したが、通常の場合は分からないのではないかと 17 大きな公園でラジオ体操への呼びかけ、また毎週ウォーキングやゲートボール等への誘い 18 高齢者や障がい者よりも子どもへの協力が多い、学校の放課後の時間、物作りや運動、昔遊び 19 積極的に障害者等を施設紹介、買物は出来る限り声掛け、配達店の紹介 20 時間が取れる高齢者がボランティアになってくれるので学校にも協力願う、青少年育成委員会や親父の会の人達への要請	16 町内自治会でアンケート等作り、助けを必要とする人を知る事が大事、民生委員との話し合いも 17 高齢者への呼びかけも町内会若手の指導者求めるもボランティア集まらない 18 ボランティアの募集でも自分の子どもが通学している時だけの人をどう継ぎとめるか 19 名簿がない限り本人申告ないところから声をかけにくい、又は民生委員の協力必要 20 サラリーマン家庭ではボランティアは難しいと思う、元気な高齢者にたのむ

取組項目 (第５期計画原案の取組番号と取組名)	取組の概要	R４年度取組状況 (いつ、どこで、何を、回数、人数等)	R５年度計画 (いつ、どこで、何を、回数、人数等)	今後の課題
２ 子ども達の集いの場の提供・ 情報提供、地域と学校との交流	夏休みラジオ体操の実施 夏休みの始めと終わりの数日間、民生委員の主催でラジオ体操を実施する。 誉田中「地域ふれあいタイム」への参加 JINKENの作成・寄贈 JINKEN（犬のぬいぐるみ）を作成して、誉田小、誉田東小の卒業生に送る。	誉田団地のみ実施。 ７月１９日、２０日、２１日 ８月２４日、２５日、２６日 子どもだけでなく大人も参加。 誉田中「地域ふれあいタイム」 １０月１５日：印鑑作り・JINKEN（犬のぬいぐるみ）作り １～２月、JINKENぬいぐるみ作成。 ３月、誉田小、誉田東小に届けた。 人権に関する講話をした。	誉田団地のみ実施。 ７月１８日、１９日、２０日 ８月２３日、２４日、２５日 子どもだけでなく大人も参加。 誉田中「地域ふれあいタイム」 １０月２１日：印鑑作り・JINKEN（犬のぬいぐるみ）作り １～２月、JINKENぬいぐるみ作成。 ３月、誉田小、誉田東小に届ける。 人権に関する講話をする。	参加人数の減少 JINKENぬいぐるみ 学校からも高評価をもらっているの で地域の活動として継続的に実施し ていきたい。
３ 高齢者が集う場の開設・拡 充・情報提供	ふれあいカフェの開催 月１回。 誉田団地自治会館。	中止	コロナの感染状況を考慮しながら、運営 スタッフと協力しながら実施する。	
５ 子育て中の親や子どもが集う 場の開設・拡充	子育てサロンの開催 子育て中の親との情報交換を図る。 月１回。 誉田町１丁目公会堂。 誉田町２丁目第一自治会館。	実施 ６/７、７/５、１０/４、１１/８、１２/６、 １/１０、２/７、 ３/７ 中止 ４月・５月・８月・９月	以下の日に実施する。 ４月４日、５月９日、６月６日、７月４日、 ８月８日、９月５日、１０月１０日、１１月７ 日、１２月５日、１月９日、２月６日、３月 ５日	子育て中の親への声かけ等周知方法を工夫して参加者を増やしていく。
１６ 見守り活動の推進	登下校時の見守り 独居高齢者の見守り	登校時の児童の見守り活動を実施した。 誉田団地、誉田１丁目 高齢者実態調査を３年ぶりに実施コ ロナ感染を考慮しながら見守り活動を継続 した。	登校時の児童の見守り活動を実施する。 誉田団地、誉田１丁目 高齢者実態調査結果をもとにコ ロナ感染対策をしながらの見守り活動を継続 する。	地域住民、保護者の参加がほしい。
１８ 地域の課題解決に向けた連 携	誉田あんしんネットワーク会議への参加 地域の課題解決に向け、上記会議に参加 し、関係機関と情報を共有し、意見交換を しながら連携を図る。	誉田あんしんネットワーク会議 ４月、８月 書面開催 緑いきいきプラザを会場に６月、１０月、 １２月、２月に開催した会議に会長、副会 長の３名が参加した。	誉田あんしんネットワーク会議 緑いきいきプラザを会場に偶数月の 第３金曜日開催の会議に会長・副会長 の３名が参加する。	貴重な情報交換・情報共有の場であるので 今後も継続して参加していきたい。

取組項目 (第５期計画原案の取組番号と取組名)	取組の概要	R４年度取組状況 (いつ、どこで、何を、回数、人数等)	R５年度計画 (いつ、どこで、何を、回数、人数等)	今後の課題
3 高齢者が集う場の開設・ 拡充・情報提供 (重点取組項目)	施設での食事会開催の協力 ・社協と連携し、高齢者施設に地域住民を招いて食事会を開催する「わくわく食事会」の実地に協力する。 ふれあい食事サービス、いきいきサロンへの協力 ・社協誉田地区部会のふれあい食事サービス、いきいきサロンへの協力をする。	コロナ禍においては、感染すると重症化しやすい高齢者施設での「わくわく食事会」は取り組み無しとなった ふれあい食事サービス は調理ボランティアの高齢化で負担が大きく、R４年５月に再開したがR５年３月で終了となった。 いきいきサロン活動 は感染予防対策を行いつつ開催し、登録７サロンで延べ 23 サロン、参加人数 437 名、延べボランティア人数 164 名。	・「わくわく食事会」とふれあい食事サービスに代わる場の開設を検討したい ・新規サロンの開設を検討する。 ・長寿会行事の一部をいきいきサロンに合流させ、長寿会の活性化を図る。	
16 見守り活動の推進 (重点取組項目)	独居高齢者の見守り強化 ・日頃の見守り活動を継続するとともに、地域ケア会議を通じて支援を相談・共有できる仕組みを作る。 ・社協誉田地区部会の見守り活動推進委員会と連携し、見守り活動の立ち上げを町内自治会に働き掛けみまもりの体制づくりに協力する。	・見守り活動については、感染拡大防止に留意しつつ、実施した。 （高齢者実態調査も３年振りに実施） ・社協誉田地区部会の見守り活動推進委員会が高齢者福祉委員会に併合されたことに伴い、高齢者福祉委員会と連携し見守りの体制づくりに協力する。	・見守り活動については、感染症拡大防止に留意しながら継続していきたい。 （令和５年度も高齢者実態調査を実施） ・社協誉田地区部会の高齢者福祉委員会と連携して見守りの体制づくりに協力する。	
18 地域の課題解決に向けた連携	地域ケア会議への参加 ・地域ケア会議（誉田あんしんネットワーク会議）に参加し、地域の課題解決に向けた連携を行う。	・新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、４月と８月の会議は書面開催となったが、６月、１０月、１２月、２月は対面開催で開催され地域の課題解決に役立っている。	・地区内の課題を発掘し、参加者の知恵を借りて早期解決に繋げたい。	

取組項目 (第５期計画原案の取組番号と取組名)	取組の概要	R４年度取組状況 (いつ、どこで、何を、回数、人数等)	R５年度計画 (いつ、どこで、何を、回数、人数等)	今後の課題
3 高齢者が集う場の開設・拡充・情報提供	高齢者が集う場の状況把握、情報提供	サロンやシニアリーダー体操など、集いの場の訪問（23 か所） あんしん誉田の広報紙「あんしんケアネット」年４回の発行	サロンやシニアリーダー体操など、集いの場の訪問 あんしん誉田の広報紙「あんしんケアネット」年４回の発行	集いの場などでは高齢化による参加者の減少が課題となっている。 介護予防の推進を行い、関係機関と情報交換をし、新たな集いの場のあり方も模索していく。 また、地域団体の担い手不足に関しては、多世代に関心を持ってもらえるように情報提供をし、ボランティアの育成につなげていく必要がある。
8 老人クラブの活性化 17 健康づくり支援	健康維持の支援活動	健康測定会・軽体操 ・１２月２１日（グリーンの会）９名 健康講話・軽体操 ・３月３１日（平川町サロン）９名	ボッチャ体験 ・４月２０日健勝会 ゴムボール体操 ・５月３０日誉田２丁目自治会 ・９月２０日誉田２丁目第２長寿会 地区部会や長寿会などで健康体操や講座の情報提供	
		「ほんだ貯筋倶楽部」の開催 ・毎月第４火曜日 10 時～11 時 誉田公民館 体操や健康講座、参加登録者 31 名	「ほんだ貯筋倶楽部」の開催 ・毎月第４火曜日 10 時～11 時半 誉田公民館 体操や健康講座、参加登録者 27 名	
15 助け合い活動の推進・外出困難者への支援	移動販売等の情報提供、支援	ヤックス移動販売の導入 ・10 月より誉田２丁目市営団地 レオ移動販売の導入 ・7 月より平川町個人宅	買い物困難者への情報提供、相談	
4 障害者（児）その家族が集う場の開設・拡充・情報提供 18 地域の課題解決に向けた連携	地域ケア会議の開催 関係機関との情報共有	あんしんネットワーク会議の開催（緑いきいきプラザ） ・４月、８月書面開催 ・６月 17 日（12 名）・10 月 21 日（14 名） ・12 月 16 日（10 名）・2 月 17 日（16 名） 自立促進ケア会議の参加 ・10 月 21 日・2 月 10 日	あんしんネットワーク会議の開催（緑いきいきプラザ） ・４月 21 日・６月 16 日・８月 18 日・10 月 20 日・12 月 15 日・2 月 16 日 自立促進ケア会議の参加 出張相談会	
			地域自立支援協議会緑区地域部会（障害者基幹）の参加 千葉市精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築推進連絡会議の参加	

取組項目 (第5期計画原案の取組番号と取組名)	取組の概要	R4年度取組状況 (いつ、どこで、何を、回数、人数等)	R5年度計画 (いつ、どこで、何を、回数、人数等)	今後の課題
16 見守り活動の推進 19 自宅療養中の家族がいる家庭への支援	認知症について正しい知識を持ち、認知症の人や家族を見守るサポーターの育成	ジュニア認知症サポーター養成講座 ・令和5年1月20日おゆみ野南中学校(252名) 認知症サポーター養成講座 ・令和4年11月24日菅田2丁目見守り隊(20名) ・令和5年3月9日ほんだ貯筋倶楽部(15名)	ジュニア認知症サポーター養成講座 ・12月5日菅田中学校 認知症サポーター養成講座	
20 ボランティアの確保	ボランティアの活動の場作りを行う。	認知症サポーターステップアップ講座 ・10月7日(緑保健福祉センター) ・11月18日(中央区きぼーる) ・11月30日(花見川保健福祉センター)	認知症サポーターステップアップ講座 ・8月25日(千葉市役所) ・9月25日(中央区きぼーる) オレンジカフェの再開 ・7月1日より第1, 3, 5土曜日13:30~15:30	

取組項目 (第５期計画原案の取組番号と取組名)	取組の概要	R４年度取組状況 (いつ、どこで、何を、回数、人数等)	R５年度計画 (いつ、どこで、何を、回数、人数等)	今後の課題
１ 情報の収集と共有化	広報紙「椎名だより」を発行し、地域の情報を提供する。	・「椎名だより」No29、30 を発行。	・「椎名だより」No31、32 を発行予定。	・多くの住民の投稿を希望
２ 子ども達の集いの場の提供・情報提供、地域と学校との交流 (重点取組項目)	椎名小学校の児童を対象に、地域での助け合いの心を育むため、地区部会役員が出前授業や体験学習を実施する。 ・稲作支援 ・福祉 SDG s の出前授業	・田植え体験 5/11 ・椎名小６年生に SDG s 授業実施 5/9 ・椎名小３年生に福祉出前授業実施 4/11	・田植え体験 5/11 ・椎名小４年生に SDG s 授業 10/18 (地球温暖化について) ・椎名小４年生に福祉出前授業 10/16	・椎名地区の特性を生かす ・学校の積極的な参加を期待
３ 高齢者が集う場の開設・拡充・情報提供	高齢者の集いの場として「ふれあい食事会」を開催する。	・コロナ禍のため中止	・11 月から再開	・新たな場の開設について住民の希望調査を実施
６ 地域の行事への積極的参加の呼びかけ、文化の伝承 (重点取組項目)	地域の連帯感を高めるため、地域行事を開催する。 ・米寿、金婚の記念写真撮影 ・敬老会への参加 ・福祉バザーの開催 椎名小学校の児童に地域文化の伝承のため、羯鼓舞を演舞支援し、発表会を実施する。 ・羯鼓舞の支援	・米寿、金婚の記念写真撮影 11/3 ・敬老会、福祉バザーはコロナ禍のため中止 ・羯鼓舞の演舞 12/17	・米寿、金婚の記念写真撮影 11/3 ・敬老会 9/30 ・福祉バザー12 月 ・羯鼓舞の演舞 12 月	・子ども参加のお祝いの会としたい ・地域福祉の推進を高めたい ・地域文化財としての認識と財政確保
９ 町内自治会の活性化	社会参加の意識啓発のため、町内自治会でのペットボトルキャップの回収活動を推進する。	・ペットボトルキャップの回収活動を４町内会で実施し、月１回、地区部会役員が回収	・ペットボトルキャップの回収活動を６町内会で実施し、月１回、地区部会役員が回収	・全町内会への活動としたい ・リサイクル意識を高めたい
10 地域活動の場の確保	築５０年を迎える椎名公民館の改築に関する千葉市への要望について協議する。 ・公民館改築の協議会開催	・千葉市への要望内容を検討し、要望書を提出	・市・区との懇談会を８月に開催。	・継続的な要望を実施
11 生活環境の整備	地域行事に参加する高齢者の交通手段の確保について協議する。	地域行事に参加する高齢者の交通手段の確保のため、地区内の福祉施設と施設車両の利用について協議した。	継続して福祉施設と協議する。	・高齢者の交通問題の解決

取組項目 (第5期計画原案の取組番号と取組名)	取組の概要	R4年度取組状況 (いつ、どこで、何を、回数、人数等)	R5年度計画 (いつ、どこで、何を、回数、人数等)	今後の課題
12 防災訓練の充実、意識啓発、体制整備	地区の防災活動に参加、協力する。	・避難所開設委員会の実施	・避難所開設委員会の実施	・避難備品の定期的な点検
13 災害時ボランティア活動の充実	ネットワーク構築へ検討中	・実施なし	・実施予定なし	・今後の課題
14 身近な防犯、安全対策	地域単位にパトロールを実施する。	・町内会ごとに実施	・町内会ごとに実施	・ボランティア活動者の確保
15 助け合い活動の推進・外出困難者への支援	体制づくり検討中	・実施なし	・実施予定なし	・特に考えていない
16 見守り活動の推進	ひとり暮らし高齢者や障害者の見守りを行う。 ・古市場団地定例会議開催	古市場団地で高齢者等の見守りを実施。 ・定例会議、地区巡回見守り実施	古市場団地で高齢者等の見守りを継続して実施。 ・定例会議、地区巡回見守り実施	・ボランティア希望者の確保
17 健康づくり支援 (重点取組項目)	地区内の福祉施設と連携して地域に向いての巡回健康体操を実施する。 ・地区ごとに健康体操実施	・コロナ禍のため無し	・6月から地区巡回体操会実施	・喜んで参加する体制の確立
18 地域の課題解決に向けた連携 (重点取組項目)	築50年を迎える椎名公民館の改築に関する千葉市への要望について協議する。 ・公民館改築の協議会開催(No.10と同様)	・千葉市への要望内容を検討し、要望書を提出	・区長との懇談会を10月に予定。	・継続的な要望を実施
19 自宅療養中の家族がいる家庭への支援	高齢者に対し認知症についての情報提供活動を行なう。	・情報活動なし	・No.17の「地区巡回体操会」の際、認知症についての講義を行う。	・住民参加者の増加
20 ボランティアの確保	・課題多く啓蒙活動が必要	・特に活動なし	・ボランティア活動参加の呼びかけ	・ボランティア希望者の確保

取組項目 (第５期計画原案の取組番号と取組名)	取組の概要	R４年度取組状況 (いつ、どこで、何を、回数、人数等)	R５年度計画 (いつ、どこで、何を、回数、人数等)	今後の課題
２ 子ども達の集いの場の提供・情報提供、地域と学校との交流	＜学校との交流＞ 地域と学校との交流	椎名小ミニ運動会 令和４年５月２８日開催	椎名小運動会 令和５年６月１０日開催	感染症の状況に応じて開催方法等を検討する必要がある。
６ 地域の行事への積極的参加の呼びかけ、文化の伝承 １７ 健康づくり支援	＜スポーツ振興会＞ スポーツを主体とした行事への協力	①バレーボール大会 令和４年１１月１３日開催 ②ソフトボール大会 令和４年１２月４日開催	① バレーボール大会 令和５年１１月１９日開催予定 ② ソフトボール大会 令和５年１２月３日開催予定 ③ 体育祭 令和５年１０月８日開催予定 ※時間を短縮して開催予定	感染症の状況に応じて開催方法等を検討する必要がある。
１２ 防災訓練の充実、意識啓発、体制整備	＜防 災＞ 地域での防災活動	避難所開設訓練 令和４年８月２８日実施	避難所開設訓練 令和５年８月２７日実施 (椎名小学校) 令和５年９月３日実施予定 (古市場体育館)	感染症の状況に応じて開催方法等を検討する必要がある。
１０ 地域活動の場の確保 １８ 地域の課題解決に向けた連携	＜地域の課題解決に向けた連携＞ 公民館新設に向けた協議		地域関係団体で「椎名公民館新築促進委員会」を組織し、公民館新設に向け協議する。 ①公民館運営委員会 令和５年６月２１日開催 ②市・区との対話会 令和５年８月２４日開催 ③ アンケート調査内容検討会開催 令和５年１１月１２日実施予定	

取組項目 (第５期計画原案の取組番号と取組名)	取組の概要	R４年度取組状況 (いつ、どこで、何を、回数、人数等)	R５年度計画 (いつ、どこで、何を、回数、人数等)	今後の課題
2 子ども達の集いの場の提供・情報提供、地域と学校との交流	福祉教育等への協力 椎名地区部会やその他関係団体と連携し、福祉出前授業や食育支援事業を実施	①椎名小学校３年生福祉出前授業 11月４日に椎名小学校３年生４０名を対象に、民生委員による福祉体験授業（アイマスク着用による視覚障害体験）を実施。併せて、民生委員や地区部会の活動を資料・映像で説明。 ②椎名小学校５年生食育支援事業 食の大切さや農業への関心をもってもらうことや地域住民との交流の一環で実施。 ○４月南部ライスセンターの見学は中止。 ○５月１１日富岡町長徳寺下側にて５年生４０名による田植を実施 ・９月予定の稲刈りは雨天中止。 11月の太巻き寿司づくりはコロナ禍のため中止 ＜協力関係団体＞ ・南部ライスセンター・椎名地区部会 ・ＪＡみどり野支店女性部・ＪＡ職員 ・社協（主催：第５０３地区民児協）	①椎名小学校４年生福祉出前授業 ・日時 令和５年１０月１６日 ・場所 椎名小学校 ・内容 民生委員による福祉体験授業 詳細未定 ・参加 ４年生４０名 民生委員、地区部会関係者 ②椎名小学校５年生食育支援事業 ○４月１９日 椎名 ライスセンターを見学 ５年生４０名が参加し、稲の育苗の様子や作業を見学した。 ○５月１１日富岡町長徳寺下側にて５年生４０名が参加し、田植えを実施 ○９月 12日 上記場所にて稲刈り ○ 11月の太巻き寿司づくりはコロナ禍のため中止 ※協力関係団体は令和４年度と同じ ③しいのみ祭を例年実施していたが、現在休止中	①福祉出前授業について ・福祉の分野は広いので、毎年、授業内容は変えているが、民生委員だけでは、限界があるので、福祉の専門職の方の協力を得るなどして、授業内容を見直すことも必要。 ②食育支援事業について ・事業に携わるメンバーの高齢化が進んでいることから、協力者の確保に懸念がある。
18 地域の課題解決に向けた連携	地域福祉活動団体との連携 地域福祉活動を行っている団体と連携し、地域の様々な行事に協力を行う。	①地区部会常任理事会（１回/月）に出席し、各種取組に関する意見交換を行った。 ②３年生対象の福祉講座など、学校行事への参加、協力を行った。 ③歳末独居高齢者慰問 地区民生員が独居高齢者宅を訪問し安否確認を行う（タオル配布）。 ＜中止の事業＞ ・福祉・コミ懇祭り、・合同敬老会 ・いきいきサロン ※歳末独居高齢者慰問は民児協単独実施	①地区部会常任理事会（１回/月）に出席し、各種取組に関する意見交換を行う ②４年生対象の福祉講座など、学校行事への参加、協力を行う。 ③歳末独居高齢者慰問 地区民生員が独居高齢者宅を訪問し安否確認を行う。 ＜実施予定事業＞ ・椎名地区部会主催で、米寿・金婚者の記念写真撮影（11月）予定。	・歳末独居高齢者慰問事業について 椎名地区部会主催の福祉バザーの収益で慰問品を購入し、訪問時に贈呈していた。現在、コロナ禍でバザーの開催が難しいため、予算の確保が難しい状況にあることから、事業内容の見直しが必要と思われる。

取組項目 (第5期計画原案の取組番号と取組名)	取組の概要	R4年度取組状況 (いつ、どこで、何を、回数、人数等)	R5年度計画 (いつ、どこで、何を、回数、人数等)	今後の課題
20 ボランティアの確保	新たな担い手確保のしくみ作り 民生委員・児童委員の担い手を確保するためのしくみづくりを推進する。	①民生委員のPRについて 14 連協の会議（4月）に出席し、各町内会に「民生委員PRチラシ」の回覧を依頼した。 ②人材の発掘等に係る協力依頼 ・主任児童の退任に伴う後任者について、地区部会の会議（5月）で各団体に候補者の情報提供を依頼した。	①民生委員のPRについて ・14 連協の会議（4月）に出席し、各町内会に「民生委員PRチラシ」の回覧を依頼した。 ・14 連協の会議（12月以降）に出席し各町内会に「民生委員PRチラシ」の回覧を依頼する予定。 ②人材の発掘等に係る協力依頼 ・民生委員に欠員が生じた場合、後任者について、地区部会の会議で各団体に候補者の情報提供を依頼する。	①民生委員のPRについて ・今後とも、このような取組を継続していくことで、住民の方に民生委員活動への理解と協力を得たいと考えている。 ②人材の発掘等に係る協力依頼について ・コロナ禍の中で、民生委員候補者との接触も難しいので、依頼しにくい状況がある。

取組項目 (第５期計画原案の取組番号と取組名)	取組の概要	R４年度取組状況 (いつ、どこで、何を、回数、人数等)	R５年度計画 (いつ、どこで、何を、回数、人数等)	今後の課題
１ 情報の収集と共有化	・会員、賛助会員、公的機関等に地区部会の福祉事業を知らせて一層の理解、協力を得る。 ・事業に参加する活動会員と推進する支援者を募集して各種活動の充実を図る。 ・地区部会構成団体や関係機関の役割を紹介し連携した効果的な取組みになるようにする。	・広報紙「ふくし」の発行、年２回、１回１．３万部、公的機関には非会員が利用できるよう配布依頼 ・福祉活動写真ニュース、１回発行 ・写真パネルによる情宣、新パネル作成中 ・写真を中心にした活動の記録	・広報紙「ふくし」の発行、年２回、１回１．３万部構成団体、関係機関の役割と関連性の紹介の工夫 ・福祉活動写真ニュースの発行、年２回 ・写真パネルの工夫による情宣活動の改善 ・写真を中心にした活動の記録	・町内自治会加入者(会員)には配付しているが、約３８％に上る未加入者(非会員)に配布できていないので、配布方法を検討する。 ・会員の要望等は各活動の中で個別に対応しているが、必要に応じて全体に紹介して共有できるようにする。
２ 子ども達の集いの場の提供・情報提供、地域と学校との交流	・中学３年生の思春期ふれあい体験学習に子育てサロン参加の親子が講師として協力する。 ・核家族で体験できない子育て中の親の思いや乳幼児の取り扱いを体感する機会にする。 * <u>集いの場や情報の提供は本年度の検討課題とする。</u>	・土気地区４中学校で各１回、中学生にとっては３年間で１回だけの学習機会だが、感染症予防のために親子は参加を見合わせてボランティア支援員だけ参加する。 * <u>子どもだけを対象とした事業は他になし</u>	・ふれあい体験学習協力—４中学校の指導計画により各１回、親子で参加協力する。 * <u>全住民対象の事業で、子どもも楽しめる従来の活動を改善し、本項目に関連した事業になるようにしていく。</u>	・各学校に協力する活動で、多くの親子が交流体験を増せる機会とする。 * <u>同世代だけでなく多世代との関わり方を体験する機会となるよう運営の仕方を工夫する。</u> * <u>集いの場や情報の提供を既存の事業の中に位置付ける。</u>
３ 高齢者が集う場の開設・拡充・情報提供	・サロン活動、散歩クラブ、ふれあい食事会の理解を広め、休止中の活動の再開と新たな開設を目指して拡充を図る。 ・各活動の参加率の向上及び会員と支援者の増員を図る一方、他が活用しやすくなるよう活動内容のファイル化に努める。 ・未設置地区の参加希望者を受け入れる体制づくりに努める。	・いきいきサロン—「小食土」の新設により１９箇所、２０３回の実施、会員延１６４６人、支援者延７７７人参加。参加率の回復が遅れている。 ・ポッチャサロンを１２月に開設、毎月１回実施 ・散歩クラブ—５箇所×１２の予定で５６回実施、会員延２８５人、支援者延７６人参加、実施回数は回復したが、会員の参加率が低い。 ・ふれあい食事会—土気、越智ともに未実施、令５年から規模を縮小して実施。会員には電話連絡や食事会だよりにより状況の説明等に努める。	・いきいきサロン１９箇所、ポッチャサロン１箇所で月１回実施。会員数前者２４５人、後者２２人 ・ファイル化した好評な内容の活用等により会員の参加率を高める ・散歩クラブ—（４箇所月１＋１箇所月２）×１２と第２サロンの発展として散歩クラブを新設する ・散歩しながらできる取組みを工夫し、活動への関心を高めて会員の参加率の向上を図る。 ・ふれあい食事会—２箇所で２ヶ月単位の実施、調理ボラを募集して月単位の実施を目指す。 ・公的機関の協力により健康相談を実施する。	・感染症予防を踏まえた取組みに努める。 ・連続的な不参加者の状況確認に努めるとともに、対処の仕方を検討する。 ・マナー化を防止して活性化を図るために活動のファイル化と情報交換に努める。 ・高齢化した会員と支援者の活力づくりと世代交代を目指して新規募集法を工夫する。 ・未設置地区の参加希望者を受け入れる態勢づくり及び新設に向けた働き掛けを工夫する。
４ 障害者（児）・その家族が集う場の開設・拡充・情報提供	・各種福祉施設や団体との共催事業として人とのふれあいをテーマに、福祉の仕事に関心を持ち、理解を深める機会とする。 ・高齢者と障害者が交流する活動を通して福祉について理解を深める機会とする。 * <u>障害者と交流する場を活動として設ける。</u>	・ふれあい福祉フェスティバル—１日に縮小、バースモール広場、共催団体１３、出演団体多数、準備を進めるが感染症予防のために途中で中止 ・ポッチャサロン—１２月から月１回実施、公民館、高齢者と障害者が楽しめるスポーツで交流を図る予定だが３月末の会員は高齢者１３人 * <u>障害者への働き掛けに不安もあり未実施</u>	・ふれあい福祉フェスティバル—１０月に２日間、共催団体１２、出演団体は障害者施設も含めて多数、写真パネルの展示等 ・ポッチャサロン—５月から月１回実施、６月末会員高齢者２２人、障害者の参加には身体障害者連合会の指導を受ける予定 * <u>障害者の参加を高齢者と支援員が受け入れる態勢づくりに努める。</u>	・パネル写真の単なる展示から情宣活動を意識した展示法を工夫してより効果的にする。 ・障害者施設の取組みを体感し、その思いや願いを踏まえた地区部会活動の具現化を図る。 ・障害者への対応で感じている不安と対処法を検討し、楽しみながら共生できるようにする。 * <u>障害者との交流を優先課題とする。</u>

取組項目 (第5期計画原案の取組番号と取組名)	取組の概要	R4年度取組状況 (いつ、どこで、何を、回数、人数等)	R5年度計画 (いつ、どこで、何を、回数、人数等)	今後の課題
5 子育て中の親や子どもが集う場の開設・拡充	・乳幼児が自由に遊べ、親が楽しみながら仲間づくりができるよう見守りに重点を置く。 ・室内活動が中心だが屋外活動も取り入れる。 ・支援員の専門性を補い、親の育児を高めるために保健指導員による育児相談会を実施する。	・子育てサロンー2箇所×12回実施、2回は野外活動、会員延221人、支援者延233人参加、会員参加者数は回復していない。 ・ガイドラインを踏まえた活動になるよう共通理解を図り、安全・安心の確保に努める。 ・保健福祉センター保健指導員による歯科を中心とした相談会は2回とも中止する。 ・ふれあい体験学習への親子の参加は感染症予防のために見合わせる。	・子育てサロンー2箇所×12ヶ月の予定、2回は昭和の森での野外活動 ・親子への直接的な指導ではなく見守りに重点を置いた活動になるようにする。 ・保健福祉センター指導員による育児相談2回 ・ふれあい体験学習ー土気地区4中学校での学習に親子が協力する。	・親子の仲間づくり、つながりづくりが自由に出来るよう遊ぶ場、語り合う場を工夫する。 ・活動に参加するにあたっての不安感の緩和等に努め、参加会員数の回復を図る。 ・公的機関によるサロンへの参加の推奨に堪えられる活動にする。 ・他団体による活動も紹介し、いろいろな活動に参加する機会を増やす。
6 地域の行事への積極的参加の呼びかけ、文化の伝承	・各種行事の取組みに共催、協賛団体として参加し、つながりづくりに努めるとともに、地区部会の理解を広めていくための情宣活動に取り組む。 ・他団体が主催する行事にも参加することを進め、交流する機会を増やす。	・土気南中区敬老会ー町内自治会、民児協との共催、対象者1600人以上、感染悪化中途中止 ・とけサマーフェスター町内自治会、育成委、サッカークラブ等との共催…途中で中止 ・小中学生マラソン大会ー育成委主催、協賛団体として支援…中止 ・プラザまつりー展示部門参加予定…中止	・土気南中区敬老会ー本年度も中止、町内自治会単位での開催には依頼により協力する ・とけサマーフェスター従来の会場での開催に向けて進行中、地区部会の参加の仕方の検討 ・マラソン大会に代わる行事への協力 ・プラザまつりー展示部門での情宣活動 ・ふるさとまつりー協力参加の仕方の検討	・共催、協賛事業としての個々の事業のねらいは異なるが、共通している地域のつながりづくりについての理解を一層深めていく。 ・許容されている範囲での情宣活動を工夫して地区部会の理解と活動の拡大に役立てる。 ・地域住民の社会参加の意義を再確認しながら地区部会の参加の仕方を見直す。
12 防災訓練の充実、意識啓発、体制整備 (重点取組項目)	・各地区の自主防災組織による諸活動への協力と地区部会に期待される取組についての検討に努める。 * 推進員、支援員、さらには活動会員の災害時に備えた意識啓発に努める。 * 災害発生時の状況把握、特に高齢な活動会員の速やかな把握のための連絡体制づくりに努める。	・1地区の自主防災組織から要請されているが他からはなく地区部会としての取組について検討するには至っていない。 * 話題にする程度で検討するまでには至っていない。	・各自主防災組織からの要請に応えられるよう部会として可能な取組について検討する。 ・市防災対策課の出前講座を受講し、推進員と支援員が防災対策上の事前の準備や心構えについて理解を図る。 ・受講内容を各種活動で取り上げ、未受講の支援員、さらには高齢な活動会員に広めて防災意識の啓発に努める。	・要請が1地区だけであることをよいことに、余り意識してこなかったが、出前講座を足掛かりに部会としての取組を検討していく。 ・定期的な救急救命法講習の意義、位置づけについて見直していく。 ・各種の活動の中に災害時の意識啓発に関連する取組を取り入れていく。
13 災害時ボランティア活動の充実	・地区部会の日頃の活動で災害時に活かせる取組と新たに期待される取組について検討に努める。 * 地区部会関係者、特に高齢な活動会員の速やかな状況把握のための体制づくりに努める。 * 日頃の活動のための応急手当の習得が災害時に活かさないか検討する。	* 各活動への参加は任意であり、参加率や欠席による会員資格を問題にすることがあっても置かれている状況の把握には至っていない。 * 消防署の指導による救急救命法講習会を3年に1回実施、災害時は想定外であるが推進員と支援者1/3人が応急手当の習得に努める。	・一定期間状況不明欠席者等の確認を確実にし、災害時の状況把握の体制づくりにもつなげていく。 ・残り2/3人の救命法講習会を実施し、量的にも質的にも対応できる取り組みとする。 ・応急手当の想定として災害発生時も含めて一層の意識の向上に努める。	・各種活動での理由不明の欠席者の状況把握に努め、災害時の対応の素地づくりとする。 ・効率的な状況把握のための体制づくりと緊急時の通報や待機中に可能な対応について検討し、応急手当の一翼を担えるようにする。 ・自主防災組織で地区部会が果せる役割を検討する。

取組項目 (第5期計画原案の取組番号と取組名)	取組の概要	R4年度取組状況 (いつ、どこで、何を、回数、人数等)	R5年度計画 (いつ、どこで、何を、回数、人数等)	今後の課題
15 助け合い活動の推進・外出困難者への支援	・高齢者の困り事を把握し、助け合い活動の必要性の理解とその対応について働き掛ける。 ・日常的なゴミ出しの支援を足掛かりに軽作業などの取組みに拡充していく。 ・外出困難者の買い物や通院の手段として既存の社会資源を紹介する一方、各地区での取組みを拡大する。 ・困り事を気軽に打ち明けられる土壌づくりに努める。	・大木戸台、大椎台の活動や定例会に在住推進員を中心に支援役、推進役として参加する。 ・はなみずき台を含めた3団体の活動内容や運営法を紹介し、他地区の開設に向けて働き掛ける。 ・介護施設等の3団体の協力による配車により外出困難者が無料利用できるようになる。 ・車利用を想定しているが、車を利用するにあたっての要件を共通理解するに至っていない ・会議や事業の自粛もあり、他への働き掛けが余り出来なく進展していない。	・既存3団体は確実に実績を上げている。支援役として引続いて協力、支援に努める。 ・「シニア支援の会」の動機や歩みを好事例として他地区の働き掛けに活用していく。 ・各種会議や活動で情宣活動に努めるが、発案者待ちでもある。働き掛け方の改善を図る。 ・買い物支援として移動販売や配送サービスの状況把握に努める一方、代案を検討する。 ・通院支援は買い物支援の方向づけ後の課題とする。	・地域の実情には違いがあり取組み差が出るが、共通した困り事を中心にしながらも地域に応じた助け合い活動を広めていく。 ・好事例の紹介による発意を期待しているが、より積極的にアンケート調査も検討していく。 ・民間の移動販売や配送サービス、介護タクシーや福祉タクシーの利用ができない場合を想定した助け合い活動として推進する。 ・既存の各種活動の延長線上の活動として位置付けていく。
16 見守り活動の推進 (重点取組項目)	・助け合い活動と関連する活動として位置づけて一人暮らしで孤立気味の高齢者を定期的な調査結果などを足掛かりに把握する。 ・閉じこもり→老化→要支援→介護の流れの断ち切りと改善の必要性について理解を図る。 ・困り事を気軽に打ち明けられる土壌づくりこそ基礎になるという認識で、普段の交流の拡充と既存の活動の紹介に努める。	・3自治会の活動に支援役として参加、運営補助金でも支援する。 ・大椎台—対象者3名→2名に減、協力者15名、1名を2,3人で担当して毎日実施 ・大木戸台—対象者5名→10名に増、協力者5名、ゴミ出しも手伝い毎週2回実施 ・あすみ第一—対象者9名→8名に減、協力者18名→17名、5ブロックに分けて月1,2回実施 ・新設に向けた働き掛けが余り出来なかった。	・3地区の支援事業として取り組む一方、他地域でも発案者や協力者が出るよう働き掛ける ・対象者の増減という相反する状況の発生要因を検討して取組みの改善に努める。 ・既存の防犯パトロールなども足掛かりに、見守りパトロールや見守り活動へと進展できないか働き掛ける。 ・見守りとゴミ出しは、孤立化の防止や困り事の手助けになるのでセット化を奨励する。	・地域の歩みや高齢化率に違いがあるので本活動の必要度の高い地域の割り出しに努める。 ・見守りだけでは希望者が減少しがちな地区には、軽度の困り事にも対応して孤立化の防止に加えて安心づくりや交流づくりにも努める ・新たな活動を組織する負担感を薄めるために既存の活動を活用する是非について検討する ・推進員在住地区の独居高齢者の生活状況を民生委員の調査などを参考に把握する。
17 健康づくり支援 (重点取組項目)	・公的機関や専門家による地域住民への直接的指導、推進員と支援者の専門性を補う研修を通して確かな取組みができるようする。 ・活動会員だけでなく、すべての住民が参加できる事業により交流の場を拡大するとともに、心身の健康づくりができるようにする。	・各サロンで保健福祉Cによる指導を年1回、あんしんケアCによる指導を2年に1回受ける。 ・健康講演会—保健福祉C推奨講師、全住民対象だが人数制限をして25人に直接指導、10月 ・ボランティア研修会—保健福祉C推奨講師による指導は中止 ・昭和の森ウォークラリー—連協、スポーツ振興会との共催で全住民対象、11/23、雨天中止	・各サロンでの保健福祉CとあんしんケアC及びリハビリ専門職による指導を受ける。 ・健康講演会—保健福祉C講師による指導は延期し、ボランティア研修会の充実を期す。 ・ボランティア研修会—健康づくりの土台となる救命法講習を昨年に引き続いて実施する。 ・昭和の森ウォークラリー—子供から大人200人の参加を想定し、多彩な交流づくりも図る。	・サロンで受けた指導の取組み状況を情報交換して一層の意欲化と継続化を図る。 ・活動の自粛に伴い表面化したフレイル問題から心身の健康づくりとしての各種取組みの意義の総合的な理解を図る。 ・ウォークラリーでの豚汁サービスの再開にあたって、感染症予防を踏まえた対応を図る。

取組項目 (第５期計画原案の取組番号と取組名)	取組の概要	R４年度取組状況 (いつ、どこで、何を、回数、人数等)	R５年度計画 (いつ、どこで、何を、回数、人数等)	今後の課題
１ 情報の収集と共有化			・回覧や広報誌を利用し、情報の共有が図れるようにする。又、その情報に対して住民がどのような要望を持っているかを把握する。(美空台自治会)	
２ 子ども達の集いの場の提供、情報提供、地域と学校との交流			・土気地区連協の４中学校区では学校後援会を組織し、小中学校に活動等の支援活動を行っている。(各自治会) ・子ども達の学習を地域で見守り、体験学習を支援するほか、児童・生徒が福祉に対する理解を深められるように、福祉教育に協力することができるよう、青少年育成委員会及び委員との連携を図る。 ・「とけサマーフェスティバル」や「あすみが丘クリスマス音楽祭」、「大椎中学校ボランティアクリーン作戦」、「ボッチャ退会」等の行事を予定している。	
３ 高齢者が集う場の開設・拡充・情報提供	土気いきいきサロン 社会奉仕兼ウォーキング (ゆうゆう散歩)	・社会福祉協議会と共催事業 平成３０年５月発足 毎月第４木曜日定例実施 参加人員１５～２０名 (土気団地自治会) ・社会福祉協議会と共催事業 毎月第２月曜日 街路のゴミを拾いながら１時間半程度ウォーキング 毎回７名程参加 (土気団地自治会)	・ふれあいいきいきサロンや散歩クラブ等、高齢者が集う場の設置を推進するため、社協土気地区部会の福祉活動推進との連携を図る。 (あすみが丘８丁目町内会：８丁目サロン) (あすみが丘南自治会：あすみが丘南サロン) (あすみが丘第三自治会：７丁目サロン)	
７ 子ども会の活性化	子ども会	・自治会として補助しているが、子供が減って活動は低調になっている。 現在土気住宅を含めて小学生１０名 (土気団地自治会)	・活動補助金	
８ 老人クラブの活性化	老人クラブ	・平成３年２月発足サニークラブと称し活発に活動 現在会員数３３名 ゆうゆう散歩、団地内パトロール、朝のラジオ体操、誕生会、同好会活動支援等広範に活動している。(土気団地自治会)	・活動補助金	

取組項目 (第5期計画原案の取組番号と取組名)	取組の概要	R4年度取組状況 (いつ、どこで、何を、回数、人数等)	R5年度計画 (いつ、どこで、何を、回数、人数等)	今後の課題
9 町内自治会の活性化		・住民による団地内清掃毎月2回実施 住民有志による団地内2カ所の公園の花壇の植栽管理、老人クラブ、子ども会、同好会支援実施 (土気団地自治会)	・町内自治会活動の周知を進め、活動への関心を高める。 役員主体になっている各種活動に対して、理解と協力を仰ぐ。 (美空台自治会) ・自治会イベントの開催 納涼会の復活(8月5日開催)集会所清掃(1回/月)、一斉清掃等のイベントを行い、住民同士の関係を密にする。 (土気住宅自治会)	・町内自治会の活性化が課題である。特に自治会役員の担い手が不足している。仕事と私生活の最適化率の実現に向けて「働き方改革」がスローガンとして掲げられる今日において、町内自治会活動を中心的に担うことは、職業生活と私生活の両方に負担を与える。地域人材活用の視点から、行政経験者がもつと活躍できないものだろうか。
1 1 生活環境の整備		・環境美化活動 46自治会40名の自治推進員ごみ集積所の管理、側溝のゴミ、泥土の除去及び消毒剤の散布、若葉・緑環境事務所の協力を得て市道農道の草刈及び不法投棄物の回収 ・不法投棄物禁止の看板設置 ・ごみステーションの清掃		
1 2 防災訓練の充実、意識啓発、体制整備	防災組織 防災訓練・備蓄品等の充実 地域における意識啓発	・自主防災組織を持ち、役割分担を決めている。集会所を拠点として防災用具、器具などの整備管理をしている。 災害時の助け合いアンケートを実施(要支援者希望者把握) (土気団地自治会) ・町内会独自の防災対策本部を組織4グループ14ブロックによる連絡網の構築をはかっています。 防災備品として全住戸に消火器を配付。 (紅葉ヶ丘団地自治会) ・緊急時の食料、医薬品等の調達、供給体制づくり、長期避難を想定し、炊き出しの体制を整える、水の緊急対応として私物の井戸の強力を要請する。 (土気町内会) ・防火、防災訓練：千葉緑消防署、千葉市防災普及公社の協力を実施した。 (楓台自治会・山の谷自治会・梅ヶ丘自治会)	・防災への取組 役員連絡網周知、役員の役割分担、災害時の助け合い希望者の情報共有 (土気団地自治会) ・防災訓練の充実 地域における自主防災組織活動の充実を図るとともに、災害時の避難場所、避難所の確認や複数避難経路設定の周知徹底に努めます。 (土気町内会) ・防災訓練の充実、意識啓発集会所の地域避難場所申請、防災学習の実施、防災備品の充実、近隣自治会と共同で防災訓練の実施。 (高津戸町内会・梅ヶ丘自治会) ・自治会防災から、各家庭に家庭用消火器を配付し啓蒙に努めた。今年度は10月に団地全体の防災訓練を行う予定。 (紅葉ヶ丘団地自治会)	

取組項目 (第5期計画原案の取組番号と取組名)	取組の概要	R4年度取組状況 (いつ、どこで、何を、回数、人数等)	R5年度計画 (いつ、どこで、何を、回数、人数等)	今後の課題
		・避難訓練実施：5月28日(日)8時00分震度6強の地震発生を想定し自治会館広場に集合した。 参加者67名(参加率28%) 訓練終了後、ごみゼロクリーンデー実施、町内の結束力を図った。 (土気町内会)	・家庭における意識啓発家庭において、日頃から避難場所の確認や防災用品の準備等を行うよう意識啓発に努めます。 (土気町内会) ・防災訓練の充実、意識啓発、体制整備 大椎中学校避難所運営委員会では、あすみが丘8丁目自主防災会と協働して、避難所開設・運営訓練及び防災訓練を行う。 また、防災普及車を用いた地震体験や煙体験訓練、救命救急訓練(AEDの取り扱い)通報訓練等、外部団体からの支援を受けて訓練の充実を図る。	
14 身近な防犯、安全対策	防犯パトロール 空家のチェックリスト 青色防犯パトロール 防犯カメラ 防犯街灯	・防犯パトロール隊 土気地区には、千葉南警察署管内防犯協会登録20団体、緑区登録18団体あり、週1～2回拡声器と拍子木を使って巡回実施 ・自主防災組織 土気地区46自治会の内自主防災組織の結成は37団体、残り9団体に結成を促す。自主防災組織の規約に基づく、防災備蓄品の購入及び工具類の補充	・月1回の防犯パトロール	コロナ禍の中、自治会活動の多くが制限され、支え合いのまちの課題が思うように進まないところであるが、・・・ 高齢化が進行し高齢世帯、高齢独居暮らし世帯が多くなっている。 災害時要支援者の把握も必要であるが、災害時に限らず、日常での助け合い、支援が必要な状況にあると思う。 これらの方々は、様々な悩みや不安、要望をもっていると
15 助け合い活動の推進、外出困難者への支援		・イオンリテール株式会社の協力を得て、土気・越智中学校区の各所で週1～2回移動販売実施 ・高齢者ゴミ出し支援 ・あすみ見守り隊平成27年発足 高齢者の見守りのため現在も継続中 月1回の定例会開催や、自治体ブログで広報をしている。 (あすみが丘第一自治会)		

取組項目 (第5期計画原案の取組番号と取組名)	取組の概要	R4年度取組状況 (いつ、どこで、何を、回数、人数等)	R5年度計画 (いつ、どこで、何を、回数、人数等)	今後の課題
16 見守り活動の推進		・全住民で両隣の見守りを行うのが原則（おおかぶ会（会員200名）互助活動組織と協力） ・学童の登下校時の交差点で見守り ・自治会各般で高齢者や1人住まいの方に声掛け、訪問するようにしている。 ・千葉市高齢者緊急通報システム・千葉市安心電話事業案内の利用を促す。 ・15名ほどの見守り支援が必要。回覧は手渡しを基本に実施している。 ・何代も続いている向こう3軒両隣精神が薄らいできている。一人暮らしの見守りを組長、班長等にて実施している。（土気町内会）	・挨拶運動など、住民同士が日常生活の中で無理なく行える活動を実施し、高齢者や子供たちの見守り活動を行う。（美空台自治会） ・一人暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯、体に障害のある方などの見守りをする希望する方に声掛けを行います。（土気町内会） ・一人暮らし高齢者世帯への声掛け、地域内の定期的な見回りを行う。（梅ヶ丘自治会） ・民生委員からの情報収集 一人住まい高齢者の毎日の声掛け見守り体制確立（高津戸町内会） ・セーフティウォッチャー 子供の通学見守り活動土気小より委託の2名が活動（土気団地自治会） ・一人暮らしの高齢者等には、月2～3回の回覧を廻すときには、ポストに投函するのではなく直接手渡しを心がける。	
17 健康づくり支援		・平成26年9月発足第一公園で毎朝6時30分からラジオに合わせて実施。毎回20名前後が参加。（土気団地自治会の他山の谷・楓台・梅ヶ丘 合計30名）	・平成26年9月発足第一公園で毎朝6時30分からラジオに合わせて実施。毎回20名前後が参加。（土気団地自治会の他山の谷・楓台・梅ヶ丘 合計30名） ・大勢の人との関わることを嫌う住民がいる。本人がやりたいこと、希望を聴取し、本人に合った健康づくりを提案する。（高津戸自治会）	
18 地域の課題解決に向けた連携			・会員の敷地内の植栽管理（枝の剪定）や雑草管理について支援可能な町内会員と受けたい会員が話し合い、協働で作業を実施する仕組みをつくる。（土気本町1組町内会）	

取組項目 (第５期計画原案の取組番号と取組名)	取組の概要	R４年度取組状況 (いつ、どこで、何を、回数、人数等)	R５年度計画 (いつ、どこで、何を、回数、人数等)	今後の課題
3 高齢者が集う場の開設・拡充・情報提供	高齢者の居場所づくりの協力 ・千葉市および緑区の福祉行政に係わる諸活動の協力一斉調査・実態把握実施 ・千葉市社会福祉協議会の諸活動への協力 ・新規いきいきサロン土気団地開設	・いきいきサロン高津戸町内会館２０人、土気団地２０人オレンジカフェたんぽぽはおひさま２０人、コミュニティカフェお茶っこは、高津戸町内会館にて２０人あんしんケアセンターの支持を仰ぎながら実施した ・地域の活性化を図るために協力した。	・いきいきサロンは各所で開催第２木曜日第４木曜日実施 ・オレンジカフェたんぽぽは、第１、３木曜日に２班に分けて実施 ・お茶っこは、町内会館にて第４水曜日	・高齢者の皆さんに家にこもりがちにならないように外に出る機会、集まり、情報交換し、社会と係わりながら、健康的に生活できる手伝いを企画していきたい。 ・楽しく、安心な運営を実施したい
5 子育て中の親や子どもが集う場の開設・拡充 6 地域の行事への積極的参加の呼びかけ、文化の伝承	子育てサロンや地域活動への協力 土気地区部会や町内会・自治会等の諸活動への協力を行う	・ふれあい体験学習の運営に協力し、子どもたちに命の尊さについて感じる機会を与える。 ・不登校生徒の家庭訪問・母子家庭の生徒の家庭訪問、母親の電話で相談受けた	・土気中学校３年生の生徒と土気地区部会子育てサロンの参加者の交流会として楽しみにしてもらっている。 ・学校の教頭からの情報交換	・ふれあい体験学習については、来年度も引き続き協力していきたい。 ・また見守り活動は、今後も引き続き継続して活動していきたい。
11 生活環境の整備	地域環境の改善 学校区内の危険個所の特定、通学路の整備を促進する	・２３連協、スポーツ振興会、土気地区部会が共催で実施している昭和の森ウオークラリーへの協力を行う ・土気地区小・中学校ポッチャ大会にスタッフとして協力参加 ・空き家の問題に取り組む庭木・鳥・動物	・昭和の森ウオークラリー（１１／２３）大雨のため中止 ・土気地区小中学生ポッチャ大会（１／１４）コロナ禍のため中止 ・所有者と連絡して対処した ・地域振興課に相談して対策した	・昭和の森ウオークラリーは、スタッフとして、また地域小中学生のスポーツ大会でもスタッフとして参加者のために協力する予定である。 ・空き家は増える傾向にあるため地域振興課に実態を知らせて協力を仰ぎたい
18 地域の課題解決に向けた連携 (重点取組項目)	地域ケア会議への参加 あんしんケアセンター主催の地域ケア会議「見守りネットワーク土気会議」に参加している	・地域ケア会議に参加し地域の情報共有や共有事項の守秘の厳守と課題解決に向けて話し合いの場に参加する。 ・推進、連携を強めていく ・市交通政策課と高津戸の問題点を考える	・月１回の「見守りネットワーク会議」に参加し、地域の関係機関と連携し情報共有 ・千葉市交通政策課の会議参加高津戸町内会館 ・高津戸の乗り合いタクシー開設 神谷市長立ち合い出発式	・今後も継続参加し、地域のために情報交換し共有し合いながら福祉関係の点で力を注ぎたい ・予約制ではあるが、バスの運行で地域の「足」になるように見届けたい。

取組項目 (第５期計画原案の取組番号と取組名)	取組の概要	R４年度取組状況 (いつ、どこで、何を、回数、人数等)	R５年度計画 (いつ、どこで、何を、回数、人数等)	今後の課題
14 身近な防犯、安全対策	空地・空き家の解消 空地・空き家のままにしておくことの 危険性・デメリット等の周知を図る	専門家を招いての勉強会 未済	町内自治会・管理組合等と タイアップして啓発・勉強会を行う	
16 見守り活動の推進 (重点取組項目)	地区の見守り活動団体との連携 はなみずき台の「おおかぶ会」 大椎台団地の「助け合いの会」 大木戸台団地の「シニア支援の会」	それぞれの立場で何をなすべきか 効率的・効果的な方策の模索 定期的な会合の実施 独居中の後期高齢者へのケア 越智中生徒会の協力により手製の クリスマスカード配布	各活動団体への民生委員の積極的 参加・関与 クリスマスカード配布の継続 つなぎ役としての民生委員の存在の アピール つないだ後のフォローアップ	地域内の諸問題を解決するために 各団体相互が（言葉だけでなく） 実際にどれだけ協調できるか
18 地域の課題解決に向けた連 携 (重点取組項目)	地区内の町内自治会との関係の緊密化 問題意識の統一化 地域ケア会議への参加・協力 見守りネットワーク土気会議 への参加	町内自治会長会議への参加継続 毎回参加 月例会議の実施 地域内の問題点・状況の共有 専門家による説明会の実施 (児童相談所、 生活自立仕事相談センター等)	町内自治会長会議への参加の継続 継続	町内自治会長の一年での交代 逆にそれだけ多くの人々が 地域の問題と関わることになる という積極面をいかに 伸ばせるか
14 身近な防犯、安全対策	空地・空き家の解消 空地・空き家のままにしておくことの 危険性・デメリット等の周知を図る	専門家を招いての勉強会 未済	町内自治会・管理組合等と タイアップして啓発・勉強会を行う	

取組項目 (第５期計画原案の取組番号と取組名)	取組の概要	R４年度取組状況 (いつ、どこで、何を、回数、人数等)	R５年度計画 (いつ、どこで、何を、回数、人数等)	今後の課題
１ 情報の収集と共有化	分野別の行政サービスの提供（新規）	・多くの住民へ配布されている土気地区部会の広報誌への継続的寄稿を行い活動継続中	・すでに開始している活動の継続	・多数の専門機関が発行している行政サービスを住民の身近に届くように、町内自治会の回覧板での提供
３ 高齢者が集う場の開設・拡充・情報提供	高齢者が集う場の開設・拡充・情報提供（新規）	・どのように進めるのが良いか検討したが、具体的案見つけられず	・具体的活動内容は決定していないが、特に意識しているのは、地元デビューしていない高齢男性の居場所作りを優先して検討したい	・可能な限り、既存の場所での拡大の一環として検討できないか検討
12 防災訓練の充実、意識啓発、体制整備 (重点取組項目)	避難行動要支援者へのサポーター作り（新規）	・民生委員が保有する名簿に掲載されている方の優先順位付け	・委員への説明と理解を受け、具体的に単位民児協内での検討 ・可能であれば、防災対策課他とサポーター決定時期目標などの情報提供受け	・行政機関との打ち合わせを通じ、有効活用できるようにしていくこと ・避難所運営委員として活動する委員が名簿を有効に活用できるようにすること ・連協の支援を受け、各町内自治会が抱える悩みなどの把握。関係機関の意見の聴取と見直し
	民生委員自身の意識高揚 住民への啓蒙活動	・一人の住民として委員も、取組の重要性の勉強		・連協等の協力を受けるための説明 ・掲載者への啓蒙チラシなどを定常活動時に配付し説明すること
14 身近な防犯、安全対策	地域内小・中学校との情報交換及び昔遊びの指導協力 児童の健全育成のためには、学校等との連携を図り適切に対応する必要がある。このため、学校との情報交換や昔遊びの指導を通し、連携を密にする。	【情報交換会】 ア令和５年１月実施予定であったが、コロナ感染症の影響で実施できなかった 【昔遊び】 ・令和４年１２月７日に地元のボランティアグループの支援も頂き、土気南小学校１年生約１２０名対象に実施した	【情報交換会】 ア令和４年度は実施できなかったので日時未定なるも、実施する予定 イ緑区要対協報告での土気地区被虐待乳幼児・児童数は、増加の一途で教務主任はじめ、より現場に近い先生方との情報交換会も検討したい 【昔遊び】 ・令和５年１２月７日実施する予定	【昔遊び】 ・児童達の身近に居る祖父母の積極的協力を得て、指導者確保の必要あり

取組項目 (第5期計画原案の取組番号と取組名)	取組の概要	R4年度取組状況 (いつ、どこで、何を、回数、人数等)	R5年度計画 (いつ、どこで、何を、回数、人数等)	今後の課題
16 見守り活動の推進 (重点取組項目)	地区の見守り活動団体との連携 地域で行われている見守り活動団体と連携し、地域での見守り活動への協力を行う。	・あすみが丘第一自治会の「見守り隊活動会議」に担当民生委員が会議に参加し、情報提供やアドバイス等を行う一方、見守り対象者登録を行っていない「気になる高齢者」への対象者登録の呼び掛けを行っている(会議参加者は、約10名)	・後期高齢者化の進展が著しい地区でもあり、見守り対象者への新規登録の勧誘活動を継続して実施していく。 ・核家族化が進む中、遠隔地に居住する独居者家族への対応方法などのアドバイス強化	・自治会が見守り隊への理解が低く、隊員の士気高揚の手助けの検討 ・遠隔地に住む家族が地元への過度な依頼心への対応方法の検討
	出産を控えた母親、新生児を持つ親との関係作り(将来の虐待防止の予防新規)		・健康課など関係機関と協議し、近場に居る親代わりとして相談相手になるための検討 ・子育てを迎える母親との交流を持ち、産後うつなどに陥りやすい妊婦の発見方法の検討	・一人で悩ませない体制作りが目標 ・手伝ってくれる、ボランティア団体探しも必要 ・活動の効果の検証はできないだろうが、意義は大きいと思われる
18 地域の課題解決に向けた連携 (重点取組項目)	地域ケア会議への参加 地域ケア会議(土気見守りネットワーク会議)に参加し、地域の課題解決に向けた連携を行う。	・コロナウィルス感染拡大で3回ほど中止になったが、積極的に意見交換やアドバイスを述べた。(参加者は、約15名) ・多くの参加者が積極的に意見を述べ、主催者のアレンジで勉強会も行うなど非常に有意義な会合です。 ・参加者は、あんしんケアセンター職員、高齢支援課職員、社協緑職員、4地区民児協会長、土気地区連協会長、社協土気地区部会長、緑いきいきプラザはじめ土気・越智いきいきセンター職員で構成 ・関係専門機関と連携強化を図り、課題対応の活動を積極的対応した	・令和4年度同様に活動の継続していく	・後期高齢者数の増加に伴う、寄り添いの連携強化 ・気になる高齢者対応のための情報交換

取組項目 (第５期計画原案の取組番号と取組名)	取組の概要	R４年度取組状況 (いつ、どこで、何を、回数、人数等)	R５年度計画 (いつ、どこで、何を、回数、人数等)	今後の課題
1 情報の収集と共有化	民児協活動のPR	社協情報紙に民児協の活動状況を掲載し、情報の共有化を図っている。 民生委員・児童委員の日の活動として、市民センターとあすみが丘プラザにポスターの掲載を行った。	今年度も引き続き、社協情報紙に民児協の活動を報告し、地域への浸透を図っていく。 民生委員・児童委員の日の活動として、各自治会館・町内会館等にもポスターの掲載を依頼し、情報の拡大を図っていく。	社協情報紙が全世帯に浸透するための方策を図る必要がある。 各自治会・町内会との連携の強化を図る必要がある。
12 防災訓練の充実、意識啓発、体制整備 (重点取組項目)	災害時の対応	民生委員・児童委員に対して、防災意識の向上のために非常食と防災リュックの提供を行った。 また、ハザードマップを再配布し、災害時の避難場所の再確認を実施した。	独居高齢者に対して、災害時の非常食として配布を図りたい。 高齢者世帯に対して、ハザードマップを配布していきたい。	災害時用非常食を独居高齢者に提供が可能か検討を要する。 独居高齢者が一人で避難場所まで行けるか不明である。
16 見守り活動の推進 (重点取組項目)	独居高齢者への見守り	高齢者実態調査時に、独居高齢者に対して安心カードの配布を行う。	高齢の独居者のみでなく、希望する高齢者に対しても安心カードの配布を行いたい。	65歳以上の高齢者が安心カードを常時携帯する方向に向けて、十分な説明をする必要がある。
18 地域の課題解決に向けた連携 (重点取組項目)	高齢者への声かけ	見守りネットワーク土気会議に参加し、地域の課題解決に向けて、いきいきセンターやあんしんケアセンターの紹介をした。	高齢者の増加に伴い、健康維持のために各いきいきセンターやあんしんケアセンターの紹介を継続していきたい。	コロナ禍が収束しない時に個人宅への訪問が許されるか不安が残る。

取組項目 (第５期計画原案の取組番号と取組名)	取組の概要	R４年度取組状況 (いつ、どこで、何を、回数、人数等)	R５年度計画 (いつ、どこで、何を、回数、人数等)	今後の課題
１８地域の課題解決に向けた連携	- 地域の関係団体・機関が連携し、地域課題の共有と課題解決に向けて話し合う場として、地域ケア会議（見守りネットワーク土気会議）を開催する。 - フレイル状態の高齢者のニーズに合ったインフォーマル資源について、事例を用いて検討する「インフォーマルケア会議（地域ケア会議）」を開催する。	- 毎月１回、土気駅前郵便局２階会議室で、民生・児童委員、社協地区部会、連協、いきいきプラザ・センター、仕事相談センター緑、障害者基幹相談センター、高齢障害支援課等関係機関が集まり、地域課題について共有、検討する会議（見守りネットワーク土気会議）を開催している。令和４年度は８回会議を実施し、毎回１５～２０名程度参加。 - 毎月１回、土気駅前郵便局２階会議室からZoomを使用したハイブリッド方式で開催している。令和４年度は１１回実施し、専門職や関係機関の１５～２０名程度が参加。	- 令和５年度も毎月開催を予定している。参加人数も令和４年度と同様の人数を予定している。 - 令和５年度も毎月開催を予定している。参加人数も令和４年度と同様の人数を予定している。	- 高齢者に関する地域の情報や課題の共有、検討は図れているが、地域課題に対する取組までは繋がっていない。地域課題の解決に向けた検討と取組が必要。 - 取り扱っていない地域の事例についても検討していきたい。
１９自宅療養中の家族がいる家庭への支援	- 認知症サポーター養成講座を開催し、認知症になっても安心して暮らせる体制づくりを行う。 - 小・中学生や地域住民、企業を対象にした認知症サポーター養成講座を実施し、認知症に対する知識・理解を地域に広める。	９月２７日に第一生命おゆみの支店にて認知症サポーター養成講座を実施。（４０名参加） １２月１２日土気小学校にて５年生児童、教員に対して認知症サポーター養成講座を実施。（児童５１名、教員３名参加） １月２５日おゆみ野南中学校にて１年生児童に対して認知症サポーター養成講座を実施。緑区内あんしんケアセンター合同開催。（２３７名参加）	７月２５日に緑保健福祉センターでおゆみの地区部会や地域住民を対象とした認知症サポーター養成講座を実施予定。 １２月１日有吉中学校実施調整中 １１月２８日越智中学校実施調整中 １１月～１２月土気小学校調整予定 - おゆみ野南中学校１月３０日実施予定 - 誉田中学校１２月５日実施予定 - 泉谷中学校１月２４日実施予定	感染症法上の制限は緩和されたが、感染症拡大の波が繰り返しあるため、少人数での講座の実施や、オンラインでの実施など感染対策を講じながら実施を考えていく必要がある。また、認知症の普及に関する広報誌等の配布など検討していく必要がある。

取組項目 (第５期計画原案の取組番号と取組名)	取組の概要	R４年度取組状況 (いつ、どこで、何を、回数、人数等)	R５年度計画 (いつ、どこで、何を、回数、人数等)	今後の課題
1 情報の収集と共有化	住民が地域でどのような交流、ふれあいの機会、行事を要望しているかを把握します。自治会の回覧や地区部会の広報紙を利用し、情報をみんなで共有できるように努めます。	1) 広報紙「ゆいゆいおゆみ野！」５回発行 ・ R4. 6. 1、9. 1、12. 1、R5. 3. 1、3. 31 ・ 各委員会活動や地域の行事取材・協力・参加 2) 地区部会主催事業（委員交流会）開催 ・ R5. 3. 19「モルック大会」泉谷小学校校庭 委員のみ参加（スポーツ振興会協力）	1) 広報紙「ゆいゆいおゆみ野！」年５回発行 ・ 各委員会活動や地域の行事取材・協力・参加 ・ 広報担当者研修会参加（千葉市社協主催） 2) 日常生活における地域の諸問題などに関連した講演会・映画上映会・レクリエーション等を実施し、委員会内及び地域住民との交流を深め情報を共有する。	
2 子ども達の集いの場の提供・情報提供、地域と学校との交流 (重点取組項目)	住民全体で「子どもは地域で育てる」という意識をもち、子どもたちの集いの場の提供・情報提供、地域と学校との交流等、青少年育成委員会やボランティア団体等と連携しながら推進していく。	1) 子育てサロンの実施：計 10 回 ・ R4. 5. 17 親子の交流 12 名 ・ R4. 6. 1 親子あそび（保育士：小田先生の指導による→以下同様）22 名 ・ R4. 7. 14 親子の交流 6 名 ・ R4. 9. 13 親子の交流 36 名 ・ R4. 10. 26 親子あそび 14 名 ・ R4. 11. 17 親子の交流、他 16 名 ・ R4. 12. 14 親子あそび 18 名（聾学校より生徒 10 名、先生 5 名、保健師 2 名参加） ・ R5. 1. 17 親子の交流 21 名 ・ R5. 2. 16 親子の交流、他 6 名（ヘルスメイトの離乳食メニュー紹介、栄養士と保健師による栄養相談等） ・ R5. 3. 15 親子あそび 34 名 （開催場所：おゆみ野公民館・鎌取コミュニティセンター・緑保健福祉センター） 2) R4. 8. 25 臨床心理士公認心理士花澤先生による研修会「発達障害と支援について」を鎌取コミュニティセンターにて開催 3) おゆみ野四季の道駅伝大会中止 さくらさくウォークラリー中止 4) その他情報交換等の委員会を随時開催	1) 子育てサロンの実施：年 10 回予定 開催時間：午前 10 時～ ・ 鎌取コミュニティセンター R5. 5. 16、9. 19、R6. 1. 16 ・ おゆみ野公民館 R5. 7. 20、11. 16、R6. 2. 15 ・ 緑保健福祉センター R5. 6. 21、10. 16、12. 13、R6. 3. 13 2) 講演会・講習会・研修会の企画、参加 年 1 回程度、時期未定 3) 緑保健福祉センター及び地域の子育て関連団体への支援協力と連携 4) その他情報交換等の委員会開催	

取組項目 (第5期計画原案の取組番号と取組名)	取組の概要	R4年度取組状況 (いつ、どこで、何を、回数、人数等)	R5年度計画 (いつ、どこで、何を、回数、人数等)	今後の課題
3 高齢者が集う場の開設・拡充・情報提供	ふれあい・いきいきサロンやふれあい散歩クラブ等、高齢者の集う場の設置を推進する。高齢者の状況を把握し、必要としている情報について関係機関（あんしんケアセンターや地域運営委員会等）に紹介する。	1) ふれあい・いきいきサロン：計8回 ・R4.5.12 落語「めずらしや芝楽と百楽庵金一」40名 ・R4.6.9 社協出張講座「薬についての素朴な疑問」44名 ・R4.7.14 脳トレや介護予防体操を交えたシニアリーダー体操20名 ・R4.9.8 南警察署講話「交通安全・オレオレ詐欺・防犯について」35名 ・R4.10.7 歯科衛生士教育「健口」24名 ・R4.11.10「腹話術（伊藤むつ子）」41名 ・R4.12.8 クリスマス会「昭和歌謡曲をアコーディオン演奏（徳永肇）で歌う」57名 ・R5.2.9 落語「めずらしや芝楽と百楽庵金一」54名 ・R5.3.9 ランチのつどい「春にまつわる日本の歌（指導：松崎・岡崎・荒瀬）」95名 2) その他情報交換等の委員会開催10回 3) 小規模ふれあい・いきいきサロンへの支援（なつめいきいきサロン・ウエルエイジングの会・おゆみ野南4丁目いきいきサロン、二水会、花みずきいきいきサロン、パークハウス燦燦会計6団体） 4) さわやか散歩：計4回 ・R4.5.23 おゆみ野大木をめぐる会29名 ・R4.9.29 日枝神社、泉蔵寺29名 ・R4.11.28 おゆみ野調整池20名 ・R6.2.20 おゆみ野の梅観賞会18名	1) ふれあい・いきいきサロン：年8回 開催時間：午後1時半～3時 R5.5.18、6.8、7.13、9.14、10.12、11.9、12.14 R6.2.8 鎌取コミュニティセンター他 ・ランチのつどい：1回 R6.3.14 午前10時半～12時 鎌取コミュニティセンター 2) その他情報交換等の委員会開催 3) 小規模ふれあい・いきいきサロンへの支援 4) ふれあい散歩：年4回（5・9・11・2月）	

取組項目 (第5期計画原案の取組番号と取組名)	取組の概要	R4年度取組状況 (いつ、どこで、何を、回数、人数等)	R5年度計画 (いつ、どこで、何を、回数、人数等)	今後の課題
4 障害者（児）・その家族が集う場の開設・拡充・情報提供	障害者（児）の状況を把握し、必要としている情報や関係機関を紹介する。障害者（児）やその家族が交流できる場を作る。地域住民と障害者（児）やその家族と交流する機会を設け、障害に対する認識を深めるとともに、地域全体で「心のバリアフリー」を進める。	1) おしゃべり会：障がい児者・保護者の交流会：計4回、午前10時～おゆみ野公民館 ・R4.6.15 フリートーク 12名 ・R4.9.21 フリートーク 12名 ・R4.11.16 フリートーク 11名 ・R5.2.15 フリートーク 16名 2) 新しい生活様式に合った地域での活動 ① イベント企画（展示会）：計1回 「おゆみ野水族館を作ろう！」25名 ・R4.7.9～8.16 鎌取コミュニティセンター ・R4.8.16～31 イオンタウンおゆみ野 ② お楽しみ会（交流会）：計1回 「久しぶりのクリスマス会だよ！」75名 ・R4.12.17 鎌取コミュニティセンター ※フラダンス、フュージョンベリーダンス、ダンスパフォーマンス、おゆみ野太鼓、クリスマスソング大合唱、サンタさんからのプレゼント 3) その他情報交換等の委員会を随時開催	1) おしゃべり会：障がい児者・保護者の交流会：年4回、午前10時～おゆみ野公民館 R5.6.21、9.20、11.15、R6.2.21 2) 新しい生活様式に合った地域での活動：年2回（イベント企画、お楽しみ会等） 3) その他情報交換等の委員会開催 4) 施設への訪問	
5 子育て中の親や子どもが集う場の開設・拡充 (重点取組項目)	発育、発達、しつけなど子育てへの不安や悩みなどを抱える親に対して、保健福祉センター等と協力し、相談会、講習会などを開催するよう努める。子育て中の親や子どもが集い、仲間づくりができる場（ふれあい・子育てサロン等）を拡充する。	(再掲) 1) 子育てサロンの実施：計10回 ・R4.5.17 親子の交流 12名 ・R4.6.1 親子あそび（保育士：小田先生の指導による→以下同様）22名 ・R4.7.14 親子の交流 6名 ・R4.9.13 親子の交流 36名 ・R4.10.26 親子あそび 14名 ・R4.11.17 親子の交流、他 16名 ・R4.12.14 親子あそび 18名（聾学校より生徒10名、先生5名、保健師2名参加） ・R5.1.17 親子の交流 21名 ・R5.2.16 親子の交流、他 6名（ヘルスメイトの離乳食メニュー紹介、栄養士と保健師による栄養相談等） ・R5.3.15 親子あそび 34名 (開催場所：おゆみ野公民館・鎌取コミュニティセンター・緑保健福祉センター)	(再掲) 1) 子育てサロンの実施：年10回予定 開催時間：午前10時～ ・鎌取コミュニティセンター R5.5.16、9.19、R6.1.16 ・おゆみ野公民館 R5.7.20、11.16、R6.2.15 ・緑保健福祉センター R5.6.21、10.16、12.13、R6.3.13 2) 講演会・講習会・研修会の企画、参加 年1回程度、時期未定	

取組項目 (第5期計画原案の取組番号と取組名)	取組の概要	R4年度取組状況 (いつ、どこで、何を、回数、人数等)	R5年度計画 (いつ、どこで、何を、回数、人数等)	今後の課題
		2) R4. 8. 25 臨床心理士公認心理士花澤先生による研修会「発達障害と支援について」を鎌取コミュニティセンターにて開催		
15 助け合い活動の推進・外出困難者への支援	日常生活のちょっとした困り事の手伝いや家事支援が出来るような体制づくりに努める。	1) ボランティア講習会：計1回 R4. 7. 22「シニアサイン講座」永原美祢子 2) 高齢者福祉委員会への協力 ふれあい・いきいきサロンに協力：計9回 3) その他情報交換等の委員会開催：7回 4) 登録ボランティアに対する地区部会活動のコーディネートを実施 登録ボランティア人数：R4. 3 現在 21 名	1) ボランティア講習会：年1回（7月） 2) 各委員会（高齢者福祉委員会等）への協力 3) その他情報交換等の委員会開催 4) 登録ボランティアに対する地区部会活動のコーディネート （行事案内、懇談会の開催、時節挨拶状の送付、名簿管理等）	
16 見守り活動の推進	ひとり暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯、また体に障害のある方などの見守りを希望する人に対して、地域住民による訪問・声かけ等を行う。 社会的孤立を防ぐため、挨拶運動など、住民同士が日常生活の中で無理なく行える見守り活動を実施する。	常日頃から地区民生委員・児童委員・各学区の育成員会と連携を密にし、高齢者及び小中学校等地域住民の見守りをするとともに、福祉推進員の協力のもと問題等の把握を迅速に行う体制の整備に努めた。	常日頃から地区民生委員・児童委員・各学区の育成員会と連携を密にし、高齢者及び小中学校等地域住民の見守りをするとともに、福祉推進員の協力のもと問題等の把握を迅速に行う体制の整備に努める。	
17 健康づくり支援 (重点取組項目)	健康を保持する活動を保健福祉センター・あんしんケアセンター及び地域の医療機関等の協力を得て、地域の週会やイベントの機会を利用して実施する。 ラジオ体操やシニアリーダー体操、健康ウォーキング等への積極的に参加する仕組みづくりを推進し、実施する。	各委員会の活動の中で、保健福祉センター・あんしんケアセンター並びに地域医療関係等の協力を得て、講演や訪問などを具体的に計画した。	各委員会の活動の中で、保健福祉センター・あんしんケアセンター並びに地域医療関係等の協力を得て、講演や訪問などを具体的に計画する。	

取組項目 (第５期計画原案の取組番号と取組名)	取組の概要	R４年度取組状況 (いつ、どこで、何を、回数、人数等)	R５年度計画 (いつ、どこで、何を、回数、人数等)	今後の課題
6 地域の行事への積極的参加の呼びかけ、文化の伝承	＜おゆみ野地区連協の活動＞ 地区行事の実施	①おゆみ野夏祭り 新型コロナの影響により中止 ②おゆみ野地区町内自治会会長会 毎月第１日曜日開催 ③年度始めに新しい自治会長と民生委員の顔合わせ	①おゆみ野夏祭り 令和５年８月開催予定 ②おゆみ野地区町内自治会会長会 毎月第１日曜日開催 ③年度始めに新しい自治会長と民生委員の顔合わせ	感染症の状況に応じて開催方法等を検討する必要がある。
2 子ども達の集いの場の提供・情報提供、地域と学校との交流	＜学校との交流＞ 地域と学校との交流	①遊歩道を使用したクイズラリー ②花植え ③夏祭りの実施等	①遊歩道を使用したクイズラリー ②花植え ③夏祭りの実施等	感染症の状況に応じて開催方法等を検討する必要がある。
6 地域の行事への積極的参加の呼びかけ、文化の伝承	＜スポーツ振興会＞ スポーツを主体とした行事への協力	①四季の駅伝 新型コロナの影響により中止 ②おゆみ野市民体育祭 新型コロナの影響により中止 ③ソフトボール大会 令和４年１１月開催	①四季の駅伝 令和６年２月開催予定 ②おゆみ野市民体育祭 おゆみ野ポッチャ大会を開催予定 ③ソフトボール大会 令和５年１１月開催予定	感染症の状況に応じて開催方法等を検討する必要がある。
1 2 防災訓練の充実、意識啓発、体制整備	＜防災＞ 地域での防災活動	①①各地区九都県市避難所訓練 令和４年９月１日実施 ②避難所訓練 令和４年８月２８日実施	①各地区九都県市避難所訓練 令和５年９月実施予定 ②避難所訓練 令和５年８月２７日実施予定	感染症の状況に応じて開催方法等を検討する必要がある。
1 4 身近な防犯、安全対策	＜防犯＞ 地域での防犯活動	①防犯カメラの設置 おゆみ野地区遊歩道に６台設置 ②青色パトロール 防犯協会において毎月１回実施	①防犯カメラの設置 地域の要望に応じ協議 ②青色パトロール 防犯協会において毎月１回実施	感染症の状況に応じて実施方法等を検討する必要がある。
6 地域の行事への積極的参加の呼びかけ、文化の伝承	＜おゆみ野地区連協の活動＞ 地区行事の実施	①おゆみ野夏祭り 新型コロナの影響により中止 ②おゆみ野地区町内自治会会長会 毎月第１日曜日開催 ③年度始めに新しい自治会長と民生委員の顔合わせ	①おゆみ野夏祭り 令和５年８月開催予定 ②おゆみ野地区町内自治会会長会 毎月第１日曜日開催 ③年度始めに新しい自治会長と民生委員の顔合わせ	感染症の状況に応じて開催方法等を検討する必要がある。

取組項目 (第５期計画原案の取組番号と取組名)	取組の概要	R４年度取組状況 (いつ、どこで、何を、回数、人数等)	R５年度計画 (いつ、どこで、何を、回数、人数等)	今後の課題
２ 子ども達の集いの場の提供・情報提供、地域と学校との交流 (重点取組項目) ３ 高齢者が集う場の開設・拡充・情報提供 ４ 障害者（児）・その家族が集う場の開設・拡充・情報提供 ５ 子育て中の親や子どもが集う場の開設・拡充 (重点取組項目)	「支え合う住みよい社会地域から」の推進 社協おゆみ野地区部会の中核的活動を担うと共に、その他地域関連団体組織との協働により、積極的な地域福祉活動に努める。	○地域部会への協力 地区部会の委員として活動し、高齢者、障害者（児）、子育て中の親子が集う場の提供に協力した。新型コロナ感染予防に配慮しながらも、少しずつ活動が戻ってきた。 ・ふれあい・いきいきサロン ８ 回開催（5/12、6/9、7/14、9/8、10/7、11/10、12/8、2/9） ・ランチの集い 1 回開催（3/9） ・さわやか散歩 4 回開催（5/23、9/29、11/28、2/20） ・ボランティア講習会 1 回開催（7/22） ・おしゃべり会 4 回開催（6/15、9/21、11/16、2/15） ・イベント企画「おゆみ野水族館を作ろう！」の実施 1 回（7/9）作品の展示（7/9～8/16：コミセン、8/16～8/31：イオンタウンおゆみ野） ・おたのしみ会実施 1 回（12/17） ・子育てサロン 10 回開催（5/17、6/1、7/14、9/13、10/26、11/17、12/14、1/17、2/16、3/15） ○地域・学校行事への協力 ・朝のあいさつ運動毎月 1 週間実施 ・小中学校校長との懇談会（7/12）および各校との交流会（泉谷中：9/2、泉谷小：9/9、小谷小：9/16）を実施 ・児童・生徒と一緒に花植えを行った。（小谷小：11/28 泉谷中：12/2 泉谷小：12/6） ・昔あそびの伝授は中止。 ○青少年育成委員会・地域運営委員会等への協力 ・遊歩道足跡ペイント再塗装への協力（10/2、10/16）	○地域部会への協力 ふれあい・いきいきサロン年 8 回、ランチの集い年 1 回、おしゃべり会年 4 回、新しい生活様式に合った地域での活動年 2 回、子育てサロン年 10 回、ふれあい散歩年 4 回などの部会の委員として活動し、高齢者、障害者（児）、子育て中の親子が集う場の提供に協力。 ○地域、学校行事への協力 ・担当小中学校校門前で毎月 1 週間、朝のあいさつ運動の実施 ・担当小中学校校長との懇談会及び交流会において学校内の様子を把握することに努める。（7 月、9 月） ・担当小中学校での「花いっぱい運動」における花植え活動の実施（11 月） ・おゆみ野地区小学校への昔あそびの伝授（11～1 月） ・おゆみ野四季の道駅伝大会への協（R6 年 2 月） ○青少年育成委員会・地域運営委員会等の諸行事や会議にも協力・参加する。 ・遊歩道足跡ペイント再塗装への協力（6 月） ・おゆみ野探検ウォークラリーへの協力（10 月）	・積極的な地域の福祉活動を行うための地域部会活動への協力体制、地域・学校行事への協力体制を、より確立していくこと。 ・引き続き、新型コロナウイルス感染予防に配慮しながら、新しい生活様式に合った地域での活動を考えて行く。

取組項目 (第5期計画原案の取組番号と取組名)	取組の概要	R4年度取組状況 (いつ、どこで、何を、回数、人数等)	R5年度計画 (いつ、どこで、何を、回数、人数等)	今後の課題
12 防災訓練の充実、意識啓発、 体制整備 (重点取組項目)	「災害時一人も見逃さない運動」の推進 ・高齢者実態調査、避難行動要支援者名簿、 年末の重度心身障害児家庭慰問金配布 などの資料を元に取り組み、安全で安心 なまちづくりに努める。 ・避難所運営委員会への参画により、災害 時の避難所の運営について検討する。	○高齢者実態調査再開により、コロナ禍の 中での高齢者の生活を確認することが 出来た。また、高齢者や災害時要支援者 の最新情報の把握に努めた。 ○令和4年度は台風の影響もほとんどな く、災害対応では特段の活動を必要とし ない一年であった。	○日常の見守り活動などにより、高齢者や 災害時要支援者の最新情報の把握に努 める。 ○台風・地震などの災害時は、安全確認や 被害状況の把握、情報伝達を行う。 ○避難所運営委員会の会議参加により、災 害時における避難所の運営について地 区ぐるみで検討する。	・引き続きコロナ感染予防に努めながら、 新しい生活様式に合った活動を検討し、 日常の見守り活動などをより充実させ ていく。 ・自治会と協力し、具体的な避難支援体制 作りが必要である。
18 地域の課題解決に向けた連 携	他地区民児協との連携 おゆみ野地区全域に関わる課題を第 508、511地区と連携し、活動する。	○「おゆみ野四季の道駅伝大会」および「さ くらさくさくウォークラリー」は、諸般 の事情により中止になった。 ○各町内自治会長と民生委員・児童委員の 意見交換会を行い、より強い連携を目指 した。(6/5)	○「おゆみ野四季の道駅伝大会」(2月) や「さくらさくさくウォークラリー」(3 月)など、おゆみ野地区全域に関するイ ベントなどの支援・参加を、508・511 地区と連携して活動する。 ○各町内自治会長との意見交換会を開催 し、民生委員・児童委員の活動内容を理 解してもらう。(6月)	・508・511地区との連携を続けながら、 おゆみ野地区全域に関わる課題をより 強く共有していくこと。 ・自治会と民生委員・児童委員との日常的 な協力体制の構築が必要である。

取組項目 (第５期計画原案の取組番号と取組名)	取組の概要	R４年度取組状況 (いつ、どこで、何を、回数、人数等)	R５年度計画 (いつ、どこで、何を、回数、人数等)	今後の課題
２子ども達の集いの場の提供・情報提供、地域と学校との交流 (重点取組項目)	有吉中学校、有吉小学校、扇田小学校を対象に活動を行っている。 あいさつ運動や花植え活動、ビオトープへの協力を行う。	１．あいさつ運動は、有吉中学校において、５～３月にかけて行った。 延べ５０日、参加約５００人。 ２．花植えは、小・中学校の生徒と行い、５～６月は２２人、１１月は２５人。	１．あいさつ運動の実施 有吉中学校の正門・裏門にて、５～３月まで実施。毎月５日間実施。 延べ５０日、約５００人参加予定。 ２．花植えの実施 ５～６月、１１月に有吉中、有吉小、扇田小で実施。延べ約５０人が参加予定。 ３．扇田小ビオトープへの協力 地域の人達と協力し、ビオトープの管理を行う。	コロナウィルスも５類になり、活動も徐々に正常に戻りつつあり、活動に対して委員全員が積極的に参加する。
６地域の行事への積極的参加の呼びかけ、文化の伝承	他地区との協働 おゆみ野地域の第５０２地区、５１１地区民児協と協働し、連携が保たれる民生委員・児童委員活動を行う。 (地域の行事・敬老会・その他)	コロナウィルス感染予防のため、全て中止。	１．地域の行事に参加、協力 ・さくらさくさくウォークラリー ・四季の道駅伝 ・おゆみ野夏祭り ２．自治会・町内会との情報交換会 ３．敬老会に協力	第５０２地区、５１１地区と協働し、連携が保たれる民生委員・児童委員活動を行う。 民生委員・児童委員と自治会との密な連携が必要。

取組項目 (第５期計画原案の取組番号と取組名)	取組の概要	R４年度取組状況 (いつ、どこで、何を、回数、人数等)	R５年度計画 (いつ、どこで、何を、回数、人数等)	今後の課題
1 情報の収集と共有化 3 高齢者が集う場の開設・拡充・情報提供 4 障害者（児）・その家族が集う場の開設・拡充・情報提供 5 子育て中の親や子どもが集う場の開設・拡充 (重点取組項目)	千葉市社会福祉協議会おゆみ野地区部会「５つの委員会」に所属 中核的活動を担うとともに、その他福祉関連団体組織と交流を図り、積極的につながる福祉活動に努める。	【おゆみ野地区部会「５つの委員会」に所属】 地区部会の委員として高齢者・子ども家庭・障がい者・ボランティア・広報委員会に所属し、収束する見通しが経たない中、感染対策を強化しながら、やれることを模索しながら福祉活動に努めた。 ・ふれあいいきいきサロン８回 ・ランチのつどい１回 ・おしゃべり会４回 ・お楽しみ会(冬)１回 ・子育てサロン１０回 ・さわやか散歩４回(5.9.11.2月) ・広報誌か発行年５回 【小規模いきいきサロンの実施】 ●ウェルエイジングの会 第３・第４水曜日おゆみ野公民館にて申込制。11回開催。延べ人数 308 人 内容シニアリーダー体操・脳トレ・ハーモニカ・演奏季節の歌・クリスマス会・手遊び・クイズ等 健康・食(減塩等)に関する話・出前講座など コロナ禍の中でも高齢者の場の提供ができ、より高齢者同士が交流を深め高齢者同士の輪が広がってよかった。 ●さんきん会(マンション内) 外でサロン開催(散歩・体操等)を中止 ●燦燦会(10月より) 第３水曜日おゆみ野パークハウス集会所にて９時～12時 延べ人数 76 名 内容シニアリーダー体操・脳トレ・演奏季節の歌・クリスマス会・手遊び・クイズ・ゲーム等 健康・食(減塩等)に関する話など ※各サロンとも関係機関(緑保健福祉センター・あんしんケアセンター他)地域の諸	【おゆみ野地区部会「５つの委員会」に所属】 地区部会の委員として高齢者・子ども家庭・障がい者・ボランティア・広報委員会に所属し年間計画のもと集う場の提供に協力していく。 ・ふれあいいきいきサロン８回 ・ランチのつどい１回 ・おしゃべり会４回 ・お楽しみ会(夏・冬)２回 ・子育てサロン１０回 ・さわやか散歩４回(5.9.11.2月) ・ボランティア講習会 ・広報誌か発行年５回 【小規模いきいきサロンの実施】 ●ウェルエイジングの会 第４水曜日おゆみ野公民館にて申込制 8回開催(7月～9月工事の為休止) 内容シニアリーダー体操・脳トレ・演奏季節の歌・クリスマス会・手遊び・クイズ・地域の情報提供等 健康・食(減塩等)に関する話・出前講座など ●さんきん会(マンション内) 参加者減少により、今後の開催を検討 ●燦燦会 第３水曜日おゆみ野パークハウス集会所にて 11 回開催 内容シニアリーダー体操・脳トレ・演奏季節の歌・クリスマス会・手遊び・クイズ・ゲーム等 健康・食(減塩等)に関する話など ※各サロンとも関係機関(緑保健福祉センター・あんしんケアセンター他)地域の諸	・現在、担い手となっている民生員の高齢化に伴い、新しい担い手の確保が必要である。(福祉委員を増やしていく) ・44 連協会長会や広報誌等で新規の勧誘活動をしていく。 ・参加している高齢者の健康管理の強化 ・休み勝ちの方への声掛け。(心配事に関係機関へ繋げていく) 75 歳以上の高齢者・独居へ参加の呼びかけをして参加者を増やしていく。(チラシ配布・掲示板へ) ※サロン等で高齢者の集う場の設置を推進する。また、孤立を防ぐために高齢者へ声かけをしたり必要な情報提供をしながら

取組項目 (第5期計画原案の取組番号と取組名)	取組の概要	R4年度取組状況 (いつ、どこで、何を、回数、人数等)	R5年度計画 (いつ、どこで、何を、回数、人数等)	今後の課題
		の諸団体に協力依頼をした。コロナ禍でも参加者が多く交流の場を求めていることが分かったと共に居場所の提供を喜んでいた。知らないもの同志の輪が広がった。	団体に協力依頼を仰ぐ。	ら見守り活動を実施する。
6 地域の行事への積極的参加の呼びかけ、文化の伝承	他地区との協働・連携 おゆみ野地域の第502・508地区と協働し、連携が保たれる活動を行う。 諸団体への連携・協力 域全体が一体となり、地域の行事(敬老会等)参加する事により、地域の活性化コミュニケーションを高める。	【おゆみ野 502・508 地区民児協との協働・連携】 9/17(土)緑保健福祉センターにて おゆみ野地域の第502・508・511地区(13名)と研修会開催。 東部児童相談所所長山口氏 「児童虐待の現状と適切な対応について」 【諸団体への連携・行事等に協力】 ●さくらさくさくウォークラリー中止 ●四季の道駅伝大会中止 ●自治会長との顔合わせと情報交換会中止 ●敬老会開催9月～10月 自治会へ開催の呼びかけし参画・協力 ●育成委員会の行事に参画・協力 3/4(土)おゆみ野南探検隊～スタンプの財宝を探せ～(スタンプラリー) 「スローガン」 子どもも大人も一緒に笑顔で楽しもう ・実行委員会に参加 ・ゲーム・フットボール ・参加賞:「みんな民生委員を知っている?」のチラシ(作成)とミンジーのクリアを配布し民生委員・児童委員の啓発活動を行った。 ・延べ人数125名	【おゆみ野 502・508 地区民児協との協働・連携】 必要に応じて理事会後話し合いをもつ。 【諸団体への連携・協力】 ●さくらさくさくウォークラリー中止 ●四季の道駅伝大会 ●自治会長との顔合わせと情報交換会 6/4(日)鎌コミにて12名参加 内容:担当民生委員の紹介・主な仕事 避難行動要支援者名簿について 敬老会について 民生委員を理解して貰う ●敬老会開催9月～10月 自治会へ開催の呼びかけし参画・協力 ●育成委員会の行事に参画・協力 9/16(土)おゆみ野南探検隊～スタンプの財宝を探せ～(スタンプラリー) 「スローガン」 子どもも大人も一緒に笑顔で楽しもう ・実行委員会に参加 ・ゲーム・じゃんけんゲーム ・9/6(水)定例会後景品の準備。 ・「みんな民生委員を知っている?」のチラシ(作成)と景品を配布する。 ・民生委員の啓発活動をする。	・おゆみ野502・508地区民児協と地域内・の状況を把握し合い、おゆみ野地区の課題を共有していく。 ・必要に応じて交流会を開催。 ・自治会との関係を強化 自治会との顔合わせと情報交換会を通して地域にて一人一人が顔の見える民生委員・児童委員なることを目標に、理解と促進を図っていく。 ・イベントを通して、子ども達に民生委員の認知度を高めていく。 ・気軽に相談できるきっかけづくりの構築(顔の見える民生委員・地頭委員になろう)

取組項目 (第5期計画原案の取組番号と取組名)	取組の概要	R4年度取組状況 (いつ、どこで、何を、回数、人数等)	R5年度計画 (いつ、どこで、何を、回数、人数等)	今後の課題
	【小学校学区における敬老会開催】 域全体が一体となり、地域の行事(敬老会等)参加する事により、地域の活性化コミュニケーションを高める。	【敬老会開催】 ・各自治会にて、敬老会の開催が年々困難になってきている。自治会と連携し小学校区ごとに開催できないか検討したが、新型コロナウイルス感染拡大により敬老会を開催する自治会が少なく(記念品を贈呈する自治会が多かった)全体でやるまでに至らなかった。 ・策定案 場所金沢小・おゆみ野南小体育館 時期9月～10月 対象75歳以上の高齢者 内容検討中(子どもとのふれあい講演会・演奏会等)	【敬老会開催】 新型コロナウイルスの感染上の位置づけが5類に引き下げられ平常時に戻りましたが、コロナ感染者数が増えてきたため、全体で高齢者が集合する敬老会は今年度も無理ではないかという意見がでた為、見送った。 変わりに自治会長さんとの顔合わせの際に、自治会として補助金のことを説明し、高齢者が集う場の構築をお願いした。	関係機関との協議(自治会・学校・行政) ・来年度に向けて小学校学区における敬老会開催を今年度中から検討していく。 ・学校区内において、高齢者同士が顔見知りになり、話し相手が出来関係づくりの構築。(高齢者の孤立防止のため) ・高齢者の自治会離れを防ぐ一歩になればと思う。
10 地域活動の場の確保	地域で行う活動の場として必要に応じて公共施設を市に要望します。	関係機関との協議に至っていないが、おゆみ野南小学校の情報交換会の際に空きスペースや休日の利用について聞いたところ、子どもの人数は減少し部屋が空いてはいるが、今まで活用できなかったもの置き場や空きを利用した授業をしている。平日に外部の方の利用は防犯上なかなか難しいとの回答。	関係機関との協議	・高齢者・子ども達の居場所づくり おゆみ野南地区には公共施設がないため、高齢者や子どもが集う場がない。それにより、地域、人と人とのつながりの希薄化が生じている。市に既存施設の空きスペース(空き家)や公共施設の提供(場を借り上げ)をお願いしたい。 ・平日、休日の学校の空き部屋の利用の可の希望。
12 防災訓練の充実、意識啓発、体制整備 (重点取組項目) 16 見守り活動の推進	地区内住民への訪問・声かけ・情報提供の充実 一人暮らしの高齢者・高齢者世帯・高齢者のみ世帯・支援を必要とする世帯に高齢者実態調査やその他必要に応じて迅速に伝達するために訪問やチラシ等をポスティングする。 あんしんケアセンターとの連携	【5～6月高齢者実態調査(75歳以上)】 見守り支援事業としての安心カード(511地区独自→市ものへ交換)配布。 ●75歳以上・調査 内容①熱中症のチラシ ②安心カード(自宅用・携帯用) (転入者70歳以上の高齢者へ) ③高齢者緊急通報システム・安心電話事業のご案内(独居の方へ) ④あんしんケアセンターのチラシ(案内) ※今回、3年ぶりに対面調査ができ、高齢者の状況が把握できた。困りごとを関係機関・専門機関(行政・あんしんケアセンター等)へつなぎ、連携強化を図り見守り体制を築いた。	【5～6月高齢者実態調査(75歳以上)】 ●75歳以上・調査 内容:①熱中症にならないために(独自) ②詐欺被害を防ごう(独自) ③高齢者緊急通報システム・安心電話事業のご案内(独居の方へ) ④あんしんケアセンターのチラシ(案内) ⑤安心カード(自宅用・携帯用) (転入者70歳以上の高齢者へ) ※調査時において困りごと等を関係機関・専門機関(あんしんケアセンター等)へつなぎ、連携強化を図り見守り体制を築いていく。 ※気になる高齢者へ介護認定の申請を進める。	・気になる高齢者対応のための情報交換(民児協内・関係機関) ・他地区への居住の見守りについて ・高齢者増加に伴う、寄り添いの強化 ・自治会に入っていない人の見守りについて ・チラシを作成し、情報提供をしていく。 ・あんしんケアセンターとのむ情報共有。

取組項目 (第5期計画原案の取組番号と取組名)	取組の概要	R4年度取組状況 (いつ、どこで、何を、回数、人数等)	R5年度計画 (いつ、どこで、何を、回数、人数等)	今後の課題
		●70歳以上・・・上記の①②④をポスティング ※配布人数 1,201人(70歳以上)		
12 防災訓練の充実、意識啓発、体制整備 (重点取組項目)	避難所運営委員会に参画・協働 避難行動支援者への支援の強化・自治会との連携	【避難所運営委員会に運営委員として参画・協働】 ●おゆみ野南小学校 4/24(日)4名第一回 顔合わせ・倉庫場所の確認 6/19(日)4名第2回研修会(出前講座) 「自分が危険!最も多い住宅火災普段と地震時の火災対策を考えます」 7/16(土)4名第3階訓練内容の検討 8/28(土)4名第4回 九都県市合同開設訓練・反省会 10/15(土)4名第6回 棚卸と備品チェック 2/26(日)4名第7回 総括反省会・来年度の役員選出 ●おゆみ野南中学校 5/28(土)2名第一回顔合わせ 6/19(日)1名南避難所運営委員会研修会参加 「自分が危険!最も多い住宅火災普段と地震時の火災対策を考えます」 7/23(土)2名第二回 8/28(土)2名九都県市合同開設訓練 10/15(土)2名第三回 2/5(土)3名第四回	避難所運営委員会に運営委員として参画・協働】 ●おゆみ野南小学校 4/22(日)4名第1回 顔合わせ・倉庫場所の確認 6/18(日)5名第2回 HUG ゲーム他 7/16(土)5名第3回 九都県市防災訓練について(説明・確認)・ 8/27(土)名第4回 九都県市合同防災訓練 10/14(土)名第6回 九都県市合同防災訓練・反省会 12/2(土)備蓄品棚卸 2/25(土)名第7回 総括反省会・来年度の役員選出 ●おゆみ野南中学校 6/3(土)4名第1回 7/22(土)3名第二回 9/30(土)名避難所開設訓練 10/15(土)名第三回 2/予定名第四回	・避難行動要支援者へのサポート体制の強化(避難行動要支援者名簿が有効活用できるようにしていくと共に災害マップ作り))。 ・個別避難計画の確認 ・自治会と連携し平常時からの情報収集や具体的な支援体制の構築。 ・防災知識の普及啓発に努めていく。 ・災害に関し、千葉市の最新情報の把握に努める。 ・避難所運営委員会との関わり方 ・金沢小避難所運営委員会の体制づくりに協力していく。

取組項目 (第5期計画原案の取組番号と取組名)	取組の概要	R4年度取組状況 (いつ、どこで、何を、回数、人数等)	R5年度計画 (いつ、どこで、何を、回数、人数等)	今後の課題
		●金沢小学校 8/28(土) 5名九都県市合同開設訓練 2/5(土) 5名 ※各避難所にて委員会に参加し、自治会の方々と連携し、災害時の対応にて学び、発災時の確認が出来て良かった。	●金沢小学校 6/3(土) 5名 8/27(日) おゆみ野南小九都県市防災訓練見学 2/5(土) 名	
14 身近な防犯、安全対策	地区内の小・中学校との校長先生との懇親会・情報交換会と昔遊び(授業)の指導協力 おゆみ野南小、金沢小、おゆみ野南中学校と連携を密にし、情報を共有し合い相談事も丁寧に受け見守りをする。 朝のあいさつ運動・タ方のパトロール実施 各地区担当において、外部(公園)だけでなく、地域の商店等にも自主防犯活動を意識することで、防犯意識や犯罪防止を図る	【小・中学校との校長との懇親会】 ・6/8(水) 緑保健福祉センターにて定例会後、開催 ・小・中学校との校長と民生委員 16 名 ・学校全体の子どもの様子の様子 ・民生委員児童委員の活動について説明。 【担当区域の小・中学校との情報交換会】 ・6/28(月) 金沢小 6 名(1 名オンラインにて参加)、 ・7/8(金) おゆみ野南小 7 名、 ・6/14(木) おゆみ野南中 12 名 ※参加者: 各小・中学校の校長・教頭その他・教務主任(生徒指導)・民生委員 ※個々に支援・見守りが必要と情報交換をすることで担当区域の子どもの状況が共有でき、より見守りの強化が図ることが出来た。 【朝のあいさつ運動・タ方のパトロール実施】 ・各自、担当区域別(6カ所)に分かれ、朝のあいさつ運動・タ方のパトロールを実施した。 ・セーフティウォッチャーに登録。 ・時間帯・・・登校時・下校時・買い物時 ・実施期間・・・毎日又は第2の週1週間 【昔遊び】 総合授業の一環で金沢小・おゆみ野南小、小谷小の新一年生を対象に行われていたが、新型コロナウイルス感染拡大に伴い中止。おゆみ野南フェスティバルも中止。	【小・中学校との校長との懇親会】 ・6/87 水) 緑保健福祉センターにて定例会後、開催 ・小・中学校との校長と民生委員 16 名 ・学校全体の子どもの様子の様子 ・民生委員児童委員の活動について説明。 【担当区域の小・中学校との情報交換会】 ・6/14(月水) 金沢小 6 名(1 名オンラインにて参加)、 ・6/27(金) おゆみ野南小 7 名、 ・7/12(水) おゆみ野南中 13 名 ※校長・教頭その他・教務主任とのおゆみ野南小・中、金沢小と情報交換をすることで担当区域の子どもの状況が共有でき、より見守りの強化が図ることが出来る。 ※夏休みに向けての注意事項について 【朝のあいさつ運動・タ方のパトロール実施】 ・各自、担当区域別(6カ所)に分かれ、朝のあいさつ運動・タ方のパトロールを実施。 ・セーフティウォッチャーに登録。 ・時間帯・・・登校時・下校時・買い物時 ・実施期間・・・毎日又は第2の週1週間 【昔遊び】 学校より依頼があった場合、高齢者に声掛けをして一緒に参加して楽しむ。	引き続き、民生員委員児童委員の活動について理解をしてもらう。 ・区割りの変更(次回一斉改選時) おゆみ野中央9丁目全域を502地区より511地区へと担当区域が変わる。 ・現在、502地区のおゆみ野中央9丁目地区の小学校は金沢小、中学校はおゆみ野南中学校と学区が変更になっていた。学区外通学の子どもの多い中、気になる子の見守り体制の強化・502地区の民児協と連携を図っていく。 ・今後も、校長・教頭・教務(生徒指導)との情報交換会は継続し子ども達が安心安全に暮らしていけるよう学校との見守り体制を密にしていく。 ・毎回登校時、遅刻をする子どもに対し遅刻をしないように声かけをしていく。 ・昔遊びを指導する高齢者が減少している。自治会・他団体と連携し指導者の確保に努めたい。 ・回覧版等で募集をかける

取組項目 (第5期計画原案の取組番号と取組名)	取組の概要	R4年度取組状況 (いつ、どこで、何を、回数、人数等)	R5年度計画 (いつ、どこで、何を、回数、人数等)	今後の課題
15 助け合い活動の推進・外出困難者への支援	外出困窮者への支援のアンケート調査 ・高齢者より買い物等に行くのに大変との声があり生活コーディネーターの協力を得ておゆみ野地区全体の実情を把握する。	・外出(買い物・通院)に関するアンケートをおゆみ野全域(502, 508, 511地区)で聞き取り調査をした。 時期・・・5～6月の高齢者実態調査時 対象・・・75歳以上の高齢者 実施人数・・・833人(686世帯)中530世帯実施 ・生活コーディネーターの協力得て結果をまとめる。 ※結果【地域運営委員会で報告】 ①近隣にスーパーやドラックストアやネットがあるせいか、思ったほど買い物には不便さを感じていないこと。 ②かかりつけの通院に関しても、不便さを感じていない人が多かった。 ③①②とも今は少し不便を感じていても「健康のために歩こう」という意識を持っている高齢者が多かった。 ④おゆみ野駅からおゆみ野中央病院までの交通手段(循環のバス)がほしい。(現在、タクシーを使っている人が多い) ⑤重たいものを買ったときに配達してくれるお店があると嬉しい。 ⑥おゆみ野全域を回るバスを増やして欲しい。	・おゆみ野駅からおゆみ野中央病院までの交通手段(循環のバス)について行政やおゆみ野中央病院へ声をかけ意見を聞いていく。 ・買い物等による情報の提供	今後の要望・・・関係機関と協議 ・おゆみ野駅からおゆみ野中央病院までのバスの運行。 ・高齢者へタクシーやバスの割引券の配布 ・現在のバスの本数を増やして欲しい
20 ボランティアの確保	【新たな担い手の確保】 ・民生委員活動をする中で、新たな担い手を確保していく仕組みづくりを推進する。 ・高齢者が元気に地域にてボランティア活動が行える場の提供・情報を発信していく。(元気な高齢者を増やす)	・永年、欠員だった2名が6月に確保できたが、一斉改選時(12月)、体調不良・転居により、再度2名が欠員となった。 ・自治会・地域団体に声掛け(チラシ配布)し、人員確保に努めた。	・新たな担い手の確保に努める。 自治会・育成・欠員区域の住民・地域の諸団体等に声掛けしていく。その際、民生委員の役割・活動を正しく伝え理解して貰えるよう働きかける。 ・高齢者が元気に地域にてボランティア活動が行える場をサロン等で紹介していく。	【今後、「担い手」の確保・PR強化】 ・2名の欠員に向けての担い手の確保・PR強化(民生委員児童委員の活動内容だけでなく、その意義を伝え、活動を正しく理解して貰えるように自治会・諸団体等に働きかけをする。) ・民生委員の担い手不足は、全国でも問題。おゆみ野地区部会の広報誌へ寄稿依頼しPRをしていく。

取組項目 (第５期計画原案の取組番号と取組名)	取組の概要	R４年度取組状況 (いつ、どこで、何を、回数、人数等)	R５年度計画 (いつ、どこで、何を、回数、人数等)	今後の課題
18 地域の課題解決に向けた連携	・地域ケア会議の開催 ・地域課題についての講演会	日時：R4.6.4 場所：おゆみ野ふれあい館 講座：「あんしんケアセンターの役割とおゆみ野地区の高齢者の現状」 回数：１回 人数：18名	日時：随時 場所：ご自宅、緑保健センター、各医療機関、あんしんケアセンター 業務：地域ケア会議（対面、オンライン） 回数：未定	健康上の課題や貧困といった課題だけでなく、身寄りのない独居高齢者、8050 問題、認知症、精神疾患等、更にはそれらが複合的な課題となっている事案も増えている。今後も多職種・他機関との連携を図りながら、地域課題に取り組み解決する手段を検討していく必要がある。 また引き続き高齢者自身がある程度健康なうちから、自分の今後の生活を考え、自主的に取り組めるよう支援していく必要がある。
19 自宅療養中の家族がいる家庭への支援	・総合相談支援業務 ・認知症サポーター養成講座	日時：日曜・祝日を除く 9:00～17:00 場所：千葉市あんしんケアセンター 業務：総合相談（窓口・電話・訪問）7 日時：令和５年１月 25 日 場所：おゆみ野南中学校 講座：J r 認知症サポーター養成講座 回数：１回 人数：生徒 241 名	日時：日曜・祝日を除く 9:00～17:00 場所：千葉市あんしんケアセンター 業務：総合相談（窓口・電話・訪問） 回数：未定 日時： 場所：おゆみの南中学校、泉谷中学校 講座：認知症 Jr サポーター養成講座 回数：各校 1 回 人数：未定	介護保険サービス利用に繋がる以前から疾病や老化による生活上の悩みを抱えている家族は多い。あんしんケアセンターの存在を知らない方もまだまだ多いため、今後も周知活動が続けていく必要がある。 新型コロナウイルスの感染症類型は引き下げられたものの、感染流行期には対面での開催が難しくなる可能性が高い。オンライン開催など別の手段を検討していく必要がある。
20 ボランティアの確保	・総合相談支援業務 ・地域介護予防活動支援業務	日時：日曜・祝日を除く 9:00～17:00 場所：千葉市あんしんケアセンター 業務：総合相談（窓口・電話・訪問） 回数：正確な相談件数は把握できていないが、ボランティア希望者や地域活動主催者数名に対し、必要と思われる情報提供を行った。 日時：随時 場所：見守り活動団体各会議 業務：地域介護予防活動支援（地域活動組織への支援・協力）各団体の会議に参加しながら活動状況の把握を行うとともに、必要な情報提供を行った。回数：５回	日時：日曜・祝日を除く 9:00～17:00 場所：千葉市あんしんケアセンター 業務：総合相談（窓口・電話・訪問） 回数：未定だが、相談者に対し必要な情報提供及び支援を行う。 日時：随時 場所：見守り活動団体各会議 業務：地域介護予防活動支援（地域活動組織への支援・協力）各団体の会議に参加しながら活動状況の把握を行うと共に、必要な情報提供を行う。 回数：未定	ボランティア希望者に対しては、社会福祉協議会を案内することが多いが、地域のサロンや認知症カフェ主催者等と日頃より連携を図りながら、ボランティア受け入れについての体制を整備し、社会貢献しやすい環境づくりも必要と考えられる。第２層生活支援コーディネーターと連携を図りながら対応していく。 喫緊の課題ではないが、会の活動を引き継ぐ後継者が見つかっていない団体もあるという。直接的な後方支援を行う社会福祉協議会や生活支援コーディネーターとも連携を図り、状況の確認を行っていく。

取組項目 (第５期計画原案の取組番号と取組名)	取組の概要	R４年度取組状況 (いつ、どこで、何を、回数、人数等)	R５年度計画 (いつ、どこで、何を、回数、人数等)	今後の課題
1 情報の収集と共有化	・ 広報誌の発行	・ 広報誌の発行 年２回発行し地域情報を発信した。	・ 広報誌の発行 年２回発行し地域情報を発信する。	・ 年２回（７月、１２月）定期的に発行する。
3 高齢者が集う場の開設・拡充・情報提供 (重点取組項目)	・ いきいきサロンの実施	・ いきいきサロン コロナのため休止	・ いきいきサロン 鎌取団地（週１回） 平山第一自治会（週１回） (町内自治会のシニアクラブと連携して実施)	・ 他の町内自治会も実施できないか検討
4 障害者（児）・その家族が集う場の開設・拡充・情報提供	・ 障害者、障害者施設に関する学習会の実施	・ 障害者に関する学習会 コロナのため中止 ・ 障害者施設の訪問 コロナのため中止	・ 障害者に関する学習会を開催し、理解を深める。 ・ 障害者施設の訪問し、障害者理解を深める。(コロナの状況による。)	・ コロナが落ち着いたら実施できるよう検討
5 子育て中の親や子どもが集う場の開設・拡充 (重点取組項目)	・ 子育てサロンの実施	・ 子育てサロン 保健福祉センターで月１回実施した。	・ 子育てサロン 保健福祉センター（月１回）	
16 見守り活動の推進	・ 地区連協と連携した見守り活動の推進	・ 訪問や外からのさりげない見守りを実施 (平山第一・鎌取・辺田・平山)	・ 訪問や外からのさりげない見守りを実施 (平山第一・鎌取・辺田・平山)	
20 ボランティアの確保	・ ボランティア活動に関する啓発活動	・ 町内会の回覧版でのボランティア募集	・ 町内会の回覧版でのボランティア募集	・ 高齢化が進みボランティアの確保が年々厳しくなる

取組項目 (第５期計画原案の取組番号と取組名)	取組の概要	R４年度取組状況 (いつ、どこで、何を、回数、人数等)	R５年度計画 (いつ、どこで、何を、回数、人数等)	今後の課題
２子ども達の集いの場の提供・情報提供、地域と学校との交流	平山小学校のセーフティウォッチャーを実施	毎週持ち回りで登下校時の見守りを実施。	毎週持ち回りで登下校時の見守りを実施	セーフティウォッチャーの確保
６地域の行事への積極的参加の呼びかけ、文化の伝承 ８老人クラブの活性化 ９町内自治会の活性化	・シニアクラブ（自治会の老人会）に地域行事への参加を呼び掛ける。 ・地域活動を通じて町内自治会への参加を呼び掛ける	餅つき大会 花いっぱい運動 毎月ゴミ拾い 盆踊り・お祭り	餅つき大会 花いっぱい運動 毎月ゴミ拾い 盆踊り・お祭り	年々町内自治会を辞めていくところが見受けられるためその対策
１２防災訓練の充実、意識啓発、体制整備	避難所運営委員会での防災訓練の実施を通じて、意識啓発や避難誘導體制、情報伝達体制の充実を図る	令和４年９月防災訓練実施	令和５年９月防災訓練実施	今後、定期的に実施
１４身近な防犯、安全対策	防犯青色パトロールの実施	月４回９町内自治会の防犯パトロールを実施	月４回９町内自治会の防犯パトロールを実施	参加人員の確保
９町内自治会の活性化 １情報の収集と共有化	①地区内町内自治会の定例会を開催 ②各単位町内会の役員が会議を開催し、回覧板の回議等について協議	①２月に１回定例会を開催 ②毎月会議を開催	①２月に１回定例会を開催 ②毎月会議を開催	①継続していく ②回覧板の内容をよく理解して貰うこと
１６見守り活動の推進	地区部会と連携した見守り活動の推進（各単位町内会で７５歳以上単身高齢者宅を訪問）	コロナのため活動休止中	コロナが落ち着いてきたので活動を検討する	実施した時の課題等検討

取組項目 (第５期計画原案の取組番号と取組名)	取組の概要	R４年度取組状況 (いつ、どこで、何を、回数、人数等)	R５年度計画 (いつ、どこで、何を、回数、人数等)	今後の課題
１ 情報の収集と共有化	１ 平山地区部会の広報紙「ネットワークふれあいニュース」を年２回、発行する。各専門委員会の活動状況を知らせる。(回覧板)地域イベントの紹介。交流を図る支援。	１ 福祉ネットワーク委員会は、「ネットワークふれあいニュース」を年２回、発行した。(７・１２月) 編集会議年６回(６～８月、１０～１２月８名)	●福祉ネットワーク委員会は、「ネットワークふれあいニュース」を年２回、発行する。(７・１２月) 編集会議年６回(６～８月、１０～１２月１１名)	
２ 子ども達の集いの場の提供・情報提供、地域と学校との交流	２-①平山小学校との情報交換を実施する。 ５０１・５０８地区の情報交換を実施する。 ２-②誉田・平山地区(５０１・５０６・５０７)の幼稚園、保育園の園長との連絡会議を実施し、連携を深める。 ２-③有吉中学校区青少年育成委員会へ所属し活動することで情報交換や連携を深める。	２-①平山小学校と民生・児童委員の会議を開き、子ども達を理解し見守った。(平山小図書室８月実施１２名) ２-①５０１・５０８地区の情報交換会は、平山小・有吉小・扇田小の校長も参加して児童の様子を確認できた。(８月実施) ２-②誉田・平山地区(５０１・５０６・５０７)の幼稚園、保育園の園長との連絡会議を実施し、連携を深めた。(１１月実施) ２-③有吉中学校区青少年育成委員会へ所属し『地域の子どもは地域の大人全体で育てる』をスローガンに活動した。	●平山小学校と民生・児童委員の会議を開き、子ども達を理解し見守る。(平山小図書室８月実施１２名) ●５０１・５０８地区の情報交換会は、平山小・有吉小・扇田小・有吉中の校長も参加して児童の様子を確認する。(８月実施) ●有吉中学校区青少年育成委員会へ所属し『地域の子どもは地域の大人全体で育てる』をスローガンに活動する。	◎幼稚園・保育園・小学校との連携がとれると地域の子育て家庭への支援をさらに充実していけると思われる。
３ 高齢者が集う場の開設・拡充・情報提供 (重点取組項目)	３ 平山地区部会「ふれあいいきいきサロン」への更なる支援活動を実施する。	３ 高齢者福祉委員会は、新型コロナウイルス感染症の予防ため活動休止した。	●高齢者福祉委員会は、「ふれあいいきいきサロン」をけやき園・緑苑の施設長も加わった１１名で保健センターで実施する。	◎平山地区部会は、令和４年度からの発足であり、地域に合う計画を立てるための各専門部会は、模索中のところもある。
４ 障害者（児）・その家族が集う場の開設・拡充・情報提供	４ 平山地区部会障がい者を理解するための学習会を開催したり、共に行事に参画して更なる支援活動をする。	４ 障がい者福祉委員会は、新型コロナウイルス感染症の予防ため活動休止した。	●障がい者福祉委員会は、障がい者を理解するための学習会、施設訪問を通して、共に行事に参加して活動をする	◎平山地区部会の活動は、各専門部会は、スタッフに協力員を迎え少しずつ歩み始めている。
５ 子育て中の親や子どもが集う場の開設・拡充 (重点取組項目)	５-①子育てサロンへの協力 ５-②平山地区部会「ふれあい子育てサロン」への更なる支援活動を実施する。	５ 主任児童委員が中心で民生委員・児童委員 ０Ｇ と地域協力員で実施し、子育てに関するアドバイスを行った。 ５-①子育てサロンへの協力を行った。(年 １０回 ４月～７月、９月～２月) ５-②平山地区部会と協働で子育てサロンの運営を行った。	●平山地区部会と協働で子育てサロンの運営を行う。 ●主任児童委員が中心で民生委員・児童委員 ０Ｇ と地域協力員で実施し、子育てに関するアドバイスを行う。 ●子育てサロンへの協力を行う。(年 １０回 ４月～７月、９月～２月)	◎子育てサロンへの協力 ◎新興住宅地が増え、参加者が広範囲から来るようになった。 ◎乳児が増えたことによって母親同士の情報交換があまり出来なかった等が課題であった。
１２ 防災訓練の充実、意識啓発、体制整備	１２-①災害時の平山小避難所開設訓練に向けての運営委員会を開催する。 １２-②体制を充実させる。	１２ 平山小(図書室・体育館)で避難所の運営方法を話し合い、訓練し緊急時の物品の確認をする。(年 ２回 ８月・９月) 運営委員(市職員・各町内役員・民生委員 ２４名)トイレ設置訓練をした。	●平山小(図書室・体育館)で避難所の運営方法を話し合い、訓練し緊急時の物品の確認をする。(年 ２回 ７月・８月) 運営委員(市職員・各町内役員・民生委員 ２４名)	◎避難者行動要支援名簿は、毎年配布されているが、災害時に機能できるのかは疑問である。

取組項目 (第5期計画原案の取組番号と取組名)	取組の概要	R4年度取組状況 (いつ、どこで、何を、回数、人数等)	R5年度計画 (いつ、どこで、何を、回数、人数等)	今後の課題
14 身近な防犯、安全対策	14-①有吉中学校のあいさつ運動への協力。 14-②有吉中学校の環境整備の協力。 (5月・10月花植え)	14-①508地区民児協と連携し、有吉中学校のあいさつ運動を行った。(有吉中正門他) ※緑区の理事会(月曜日)の翌週の月曜～金曜の平日5日間をあいさつ運動として、通年(夏休みを除く)実施した。 7:50～8:10実施 (R4)2021年4月～(R5)2022年3月 14-②有吉中学校の環境整備(5月・10月花植え) 防犯対策として花を植える事により、町を明るく景観をよくする。	●508地区民児協と連携し、有吉中学校のあいさつ運動を行う。(有吉中正門他) ※緑区の理事会(月曜日)の翌週の月曜～金曜の平日5日間をあいさつ運動として、通年(夏休みを除く)実施している。 7:50～8:10実施予定 (R5)2023年4月～(R6)2024年3月 ●有吉中学校の環境整備(5月・10月花植え) 防犯対策として花を植える事により、町を明るく景観をよくする。	◎有吉中学校の挨拶運動は、508地区民児協と連携して活動できた。 ◎生徒が声を出して挨拶をするようになってきた。 ◎学校の先生や508地区民児協との横の繋がりが深まった。
16 見守り活動の推進	16-①単身世帯高齢者の見守り活動の実施 例年実施している高齢者の実態調査をするとともに単身世帯高齢者の見守り活動を行う。 16-②地区の見守り活動団体との連携 地域で活動している見守り活動団体への協力を行う。	16-①令和4年度は、高齢者実態調査(5・6月) ○敬老会中止のお知らせ(7月) ○平山地区敬老会実行委員会による中止に伴うお祝い品のタオル配布 (ポスティング9月各町内役員25名) 16-②地区の見守り活動団体の定例会に参加し、情報共有やアドバイスを実施した。 16-②保健センター・公民館で民生委員・町内役員・ボランティア・社協・あんしんケアセンター等と共に会議のみ実施。 (5・7・9・12・2月)10名程参加した。 ○敬老祝い金・品を配布する。(9月)	●令和5年度は、高齢者実態調査(5・6・7月) ●敬老会中止のお知らせ(7月) ●平山地区敬老会実行委員会による中止に伴うお祝い品のタオル配布 (ポスティング9月各町内役員25名) ●地区の見守り活動団体の定例会に参加し、情報共有やアドバイスを実施する。 ●保健センター・公民館で民生委員・町内役員・ボランティア・社協・あんしんケアセンター等と共に会議をし月1回程度、単身高齢者世帯の見守りを行う。 (5・7・9・12・2月) ●敬老祝い金・品を配布する。(9月)	◎見守り活動団体が行っている活動は、高齢者からも喜ばれていたが、新型コロナウイルス感染症が収束していないため実施できない状況が続いている。 ◎2ヶ月に1回程開催される各団体の定例会議には、民生委員が参加し、情報交換を行ってきた。 ◎見守り活動はボランティアの高齢化の問題も出てきており、若い世代の取り込みが課題である。 ◎外出困難者・自宅療養中の家族・障がい者(児)の家族等の支援については、支援の手が行き届いておらず、何も確立されていない。特に家族のみに負担がかかるため、地域での早急な取り組みが必要であるように思われる。

取組項目 (第５期計画原案の取組番号と取組名)	取組の概要	R４年度取組状況 (いつ、どこで、何を、回数、人数等)	R５年度計画 (いつ、どこで、何を、回数、人数等)	今後の課題
３ 高齢者が集う場の開設・拡充・情報提供	・新しい活動の立ち上げ支援を行う。 ・活動場所を訪問し、活動状況を把握する。 ・適宜、情報提供を行う。 ・地域活動における活性化のための支援を行う。 ・企業・団体等による活動場所の提供に関する情報を把握し、地域にて周知を行う。 ・提供スペースの有効活用事例の周知および新たな活用方法の提案をする。	・資源調査・ヒアリング調査および訪問により、活動状況の把握を行なった。 ・適宜、情報提供を行なった。 ・出張講座情報の紹介を行い、5/24 土気地区部会なかの台サロン、6/9 おゆみ野地区部会いきいきサロン、9/28 鎌取脳トレサークル、3/23 平山地区老人クラブ連合会にて、出張講座が開催された。 ・提供スペースについて地域で周知した。	・新しい活動の立ち上げ支援を行う。 ・活動場所を訪問し、活動状況を把握する。 ・適宜、情報提供を行う。 ・地域活動の活性化のための支援を行う。 ・企業・団体等による活動場所の提供に関する情報を把握し、地域にて周知を行う。 ・提供スペースの活用推進を行う。 ・ボランティア担当と連携して、地域活動の担い手養成を行う。	・地域活動における状況の変化を的確に把握するため、課題や困りごとの情報収集を行う。 ・担い手の高齢化、担い手不足という現状があるため、新たな担い手の養成、発掘に努める。 ・担い手と活動の場を繋げる。 ・担い手同士の横の繋がりができるような働きかけを行う。
15 助け合い活動の推進・外出困難者への支援	・地域住民の移動手段に関わる状況や生活支援ニーズ等を把握する。 ・買い物困難者への支援を行う。	・高齢者実態調査時に、おゆみ野地区民生委員にて実施された「外出（買い物・通院）についてのアンケート調査」への協力。アンケート用紙作成、集計結果報告資料を作成し、おゆみ野地区民児協および地域運営員会に集計結果を共有した。 ・移動販売、その他買い物手段に関する情報提供を行なった。 ・移動販売担当者と、利用状況や課題、地域のニーズ等について、情報を共有した。	・あんしんケアセンターや民生委員と連携し、地域の生活支援ニーズを把握する。 ・移動販売において、複数の業者で連携して地域を支援していただくため、業者間の横の繋がりができるよう働きかける。	・買い物困難者における買い物手段の選択肢を増やす。 ・サービスを活用するための勉強会や説明会の開催。 ・あんしんケアセンターおよび地域支援者と連携し、生活支援ニーズに関する情報を収集する。 ・自治会と連携して取り組む。 ・担い手の養成および発掘に努める。
16 見守り活動の推進	・見守り活動団体の定例会に出席し、地域および活動状況を把握する。 ・必要な情報提供を行う。	・定例会に出席し、活動の状況および見守り対象者の状況を把握した。 ・見守り活動団体によるアンケート調査の集計および集計結果報告資料を作成した。 ・適宜、情報提供を行った。	・定例会に出席し、見守り活動の状況および見守り対象者の状況を把握する。 ・見守り活動団体によるアンケート調査集計および集計結果報告資料作成する。 ・適宜、情報提供を行う。	・担い手の高齢化、担い手不足の現状があるため、担い手の養成および発掘に努める。 ・関係機関とのネットワークを構築する。

取組項目 (第5期計画原案の取組番号と取組名)	取組の概要	R4年度取組状況 (いつ、どこで、何を、回数、人数等)	R5年度計画 (いつ、どこで、何を、回数、人数等)	今後の課題
17 健康づくり支援	・シニアリーダー養成講座にて、講義「地域のささえあいづくりを支援生活支援コーディネーター」(生活支援コーディネーターの役割・シニアリーダーとの具体的な関わり・地域活動等)を担当する。 ・健康課と連携して、地域住民の健康づくりを支援する。	・2022.8、2022.12 シニアリーダー養成講座にて講義「地域のささえあいづくりを支援生活支援コーディネーター」を担当した。 ・シニアリーダー連絡会に出席し、各教室の活動状況および課題を把握した。 ・シニアリーダー体操教室を訪問し、各教室の状況を把握した。 ・健康課と地域活動団体の情報交換および情報提供を行なった。	・2023.7、2023.12 シニアリーダー養成講座にて講義「地域のささえあいづくりを支援生活支援コーディネーター」を担当する。 ・シニアリーダー連絡会に出席し、各教室の活動状況および課題の把握に努める。 ・シニアリーダー体操教室を訪問し、参加者の様子、活動の様子を把握する。 ・健康課と地域活動団体の情報交換および情報提供を行い、地域住民の健康づくりを支援する。	・シニアリーダーにおいても担い手の高齢化という現状があるため、養成講座開催を周知し、受講に繋げ、次世代のシニアリーダー育成を支援する。 ・活動団体が抱えるさまざまな問題や困りごとを把握し、活動を継続するための情報提供や、シニアリーダー同士のネットワーク構築にむけた支援を行う。 ・情報弱者へ情報が届くような周知方法を考える。地域に情報を広く届け、住民の選択肢を増やす。

取組項目 (第５期計画原案の取組番号と取組名)	取組の概要	R４年度取組状況 (いつ、どこで、何を、回数、人数等)	R５年度計画 (いつ、どこで、何を、回数、人数等)	今後の課題
8 老人クラブの活性化 17 健康づくり支援	1 活動促進事業 ①指導者研修会（２回で５０名を予定） ②役員研修会（１回で２名を予定） ③女性委員会研修会 （２回で３０名を予定） ④老人クラブと子供会育成交流会 （３回で１２０名を予定）	①１２月にサンライズで指導者研修会に ３１名参加、３月に菅田公民館で生前相続 講習に１２名参加 ②県外研修はコロナ禍で開催できず、地区 役員の研修に変更し、１３名が参加 ③３地区で女性委員研修会を計３回開催 し、１８名が参加 ④コロナ禍により児童との交流が不可と なり、老人クラブのウォーキングに代替し て開催した	①１２月の指導者研修会で３５名を予定 ２月の相続講習会で１５名を予定 ②県外研修は１回で２名を予定 ③３地区で開催し３０名を予定 ④１２月に３地区で開催し児童８０名、 老人クラブ４０名を予定	①コロナの状況次第であるが現状では開 催の予定である ②今年は１１月に秋田県で開催予定 ③ ④学校との協議が必要で流動的である
	2 健康づくり・介護予防支援事業 ①グラウンドゴルフ大会 （６回で２４０名を予定） ②ワナゲ＆ダーツ大会 （５回で２６０名を予定） ③ゲートボール大会 （２回で４５名を予定） ④ノルディック・ウォーク （１回で４５名を予定） ⑤パークゴルフ大会 （３回で１００名を予定）	①２地区で４回開催し１２７名が参加 ②３地区で１０回開催し３２４名が参加 ③２回の開催で４０名が参加 ④１回の開催で３８名が参加 （おゆみ野四季の道コース） ⑤３回の開催で７９名が参加 （エコパークゴルフ大木戸）	①３地区で５回開催し２００名参加予定 ②３地区で５回開催し３２０名参加予定 ③２回開催し４５名参加予定 ④１回開催し４０名参加予定 ⑤３回開催し９０名参加予定	①コロナウィルスが現状以下であれば全 て予定通り消化できる見込み 各クラブ共年々高齢化しているため、参 加者が減少傾向にあるのが共通の悩みで す
	3 地域支え合い事業 ①「社会奉仕の日」活動（９月実施） （９月実施で１５０名を予定） ②友愛活動	①９月に９クラブが実施し計１５０名が 参加 ②４年度の予定はなし	①９月に９クラブで１５０名参加予定 ②７クラブで研修し３０名参加予定	①②共に問題なし
	4 活動支援体制強化事業 ①芸能大会 ②料理教室 ③活動展資料作成 ④自立体力測定	①１０月３０日菅田公民館で開催予定も コロナ禍で会場使用できず中止した ②菅田・平山地区合同で２回開催し４１名、 土気地区は食事セミナーで１２名参加 ③資料作成に３回で２７名が参加 ④３地区の７クラブから６６名が参加	①１０月３０日（月）菅田公民館で開催し １５０名の参加予定 ②３地区で開催し５０名参加予定 ③３回の開催で２０名参加予定 ④６クラブで開催し６０名参加予定	①コロナの状況次第であるが現状では開 催の予定である ②③④は予定通り開催する

施設・個別団体

緑区支え合いのまち推進計画に準じた取組状況（令和４年度）及び計画（令和５年度）等一覧表

団体名 おゆみ野女性の会

取組項目 (第５期計画原案の取組番号と取組名)	取組の概要	R４年度取組状況 (いつ、どこで、何を、回数、人数等)	R５年度計画 (いつ、どこで、何を、回数、人数等)	今後の課題
３ 高齢者が集う場の開設・拡充・情報提供	・高齢者が集う場の開設 「すいようカフェ」 多世代の交流とくつろぎを大切にしながら、情報提供やひとりひとりにあった体操や語り合いなど参加者同士が支え合う居場所 ・地域の高齢者が集う場をキャッチし参加者にお知らせする。 ①すいようカフェ以外の高齢者の集いの場 ②歌の広場などの情報提供	①毎週水曜日 １１時から１５時みんなの広場 すいようカフェ おおむね５名～２０名 ②２～３か所集いの場の情報提供 歌の広場は２０名くらいで 年に２～３回	R４年と同様におこなう	・すいようカフェの広場の検討 ・車イスなどの参加の方法など
６ 地域の行事への積極的参加の呼びかけ、文化の伝承	・地域行事の文化祭やお祭りなどのお知らせをし、参加を呼びかける。	情報入手次第カフェの場でお知らせ ・まちカフェ、ふれあい市、おゆみ野文化祭、鎌取 CC センターまつりなど	R４年と同様におこなう	
６ 地域の行事への積極的参加の呼びかけ、文化の伝承	・毎年夏におゆみ野女性の会主催の「戦争体験を語る会」の開催	２０２２年１０月 すいようカフェの場で 女性の会と共催で開催 参加者約２０名	日程は未定で開催予定	
１６ 見守り活動の推進	すいようカフェの参加者のお休みが続くような場合、カフェのボランティアによる電話かけや自宅訪問	参加者のお休みが続く場合やカフェの急な休みのとき、ボランティアスタッフにより参加者の方々に連絡を取り、生活の様子をうかがう。	R４年と同様に行う	緊急連絡網の作成

施設・個別団体

緑区支え合いのまち推進計画に準じた取組状況（令和４年度）及び計画（令和５年度）等一覧表

団体名 千葉市精神障害者南地域家族会

取組項目 (第５期計画原案の取組番号と取組名)	取組の概要	R４年度取組状況 (いつ、どこで、何を、回数、人数等)	R５年度計画 (いつ、どこで、何を、回数、人数等)	今後の課題
４ 障害者（児）・その家族が集う場の開設・拡充・情報提供	ア例会	コロナ禍のまん延防止等重点措置の解除も行われ、家族会活動を元に戻していく。緑保健福祉センターボランティア室等 ・ 4/16（土）11 名「私の経験してきたこと」研修会 ・ 5/21（土）総会（書面決議） ・ 6/18（土）9 名「ビデオ鑑賞」「精神障害当事者と家族の総合理解学習プログラム」 ・ 9/17（土）10 名「話し合い」 ・ 10/15（土）12 名「研修会」「精神障害者にも対応した地域包括ケアシステム（千葉市）」末永慎介氏 ・ 12/10（土）5 名「話し合い」 ・ 令和５年 1/21（土）9 名「検討会」家族の抱える基本的課題等 ・ 2/12（日）6 名「検討会」続き ・ 3/18（土）10 名「研修会」「障害者基幹支援センターの役割等」由良氏	新型コロナウイルスの感染は減少、５月８日には５類移行が決まっており、会員の高齢化を配慮しながら家族会活動を元の状態に戻していきたい。 場所緑保健福祉センターボランティア室 講師による研修会やビデオ研修会等と話し合い等相談事業を交互に配置し、メリハリをつけた内容とする。 回数 4/15、5/27（総会）、6/17 7/22、9/16、10/21、12/16 令和６年 1/20、2/17、3/16	会員の高齢化により例会出席者が少なくなっている。情報の伝え方を工夫していきたい。又、組織を強化していきたい。
	イおしゃべり会の実施	実施せず	機会をみつけ実施していく	身近なところに手ごろな場所を見つけない。
	ウ会報「千南会」の発行	会報「千南会」第 21 号 9 月 1 日発行 会報「千南会」第 22 号 3 月 1 日発行	会報「千南会」第 23 号 9 月発行予定 会報「千南会」第 24 号 3 月発行予定	会員外の特に引きこもり家族にも活用できる情報誌としたい。
	エ拡大例会（講演会）の実施	11/26（土）講演会緑保健福祉センター 「オープンダイアログの紹介と対話練習」～日常生活の中での応用の可能性～ 講師石川真紀先生 （千葉県精神保健福祉センター） ・ 30 名出席 ・ 我が子に接する姿勢作りに役立つことを確認した。	11/18（土）講演会緑保健福祉センター 「親亡き後の相談事例から浮かんでくる課題や、また、あらかじめ準備した出席者の質問に見られる課題から、どのような具体的な解決策があるか？」岩崎真弓先生（予定）。 会員の高齢化に伴い家族会の「支え合い」の強化を図りたい。	

取組項目 (第５期計画原案の取組番号と取組名)	取組の概要	R４年度取組状況 (いつ、どこで、何を、回数、人数等)	R５年度計画 (いつ、どこで、何を、回数、人数等)	今後の課題
２子ども達の集いの場の提供・情報提供、地域と学校との交流	ア学校と施設の交流小委員会事業	小委員会での事業はコロナ情勢により計画されず。 R4年６月23日に、土気公民館と生涯学習センターとときわ園をつなぎ、公民館とセンターに職場体験中の中学生６名（大椎中３名、葛城中３名）とデイサービスの利用者とのオンライン交流会を開催。中学生から若いころのことを尋ねられて、ご参加の高齢者には自然と回想訓練の機会となった様子であった。	小委員会での計画は今後。 R5年６月22日に、土気公民館と生涯学習センターとときわ園をつなぎ、公民館とセンターに職場体験中の中学生５名（大椎中３名、高浜中２名）とデイサービスの利用者とのオンライン交流会を開催。中学生の演奏にのせて童謡を歌ったり、普段デイサービスで繰り返し行っている脳トレゲームを中学生がすぐ覚えてしまうことに驚かされたり、双方楽しい時間を過ごせた様子である。	オンラインでできることを各機関とつながりながら模索する。
６地域の行事への積極的参加の呼びかけ、文化の伝承	アわくわく食事会の開催	コロナ情勢により計画されず。	もしお声がかかれれば積極的に協力させていただきたい。	地域とのつながりについて取組項目も含めて検討する必要があるかもしれない。
	イ土気地区部会ふれあい食事会への管理栄養士派遣	コロナ情勢により計画されず。	もしお声がかかれれば積極的に協力させていただきたい。	地域とのつながりについて取組項目も含めて検討する必要があるかもしれない。
１２防災訓練の充実、意識啓発、体制整備		BCPの仕組みづくりとして、Bossシステムを導入しているが、開発元の東京大学生産技術研究所沼田研究室（防災プロセス工学）との共同作業を行ってきた。 R4年度は不定期に開催されるBoss研究会に担当者が参加し、主に行政の防災担当者や東大の研究者たちとの意見交換を行った。 また、研究論文作成に関して、データ提供や知見の共有を行った。	前年度に引き続き東大生産技術研究所との連携を継続する。 東大大学院工学系研究科より、「高齢者福祉施設の防災対策に関するシンポジウム」での登壇依頼があり、９月下旬に講演予定。Bossシステムの導入に取り組んだことを、９月13～14日に開催される全国老人福祉施設協議会関東ブロック研究大会において事例発表を行う予定。 また、行政が企画する福祉的避難所の防災訓練などが開催されれば、積極的に参加する。	

取組項目 (第５期計画原案の取組番号と取組名)	取組の概要	R４年度取組状況 (いつ、どこで、何を、回数、人数等)	R５年度計画 (いつ、どこで、何を、回数、人数等)	今後の課題
4 障害者（児）・その家族が集う場の開設・拡充・情報提供	ア 長期入院患者の地域生活に向けた支援 イ 就労支援事業で製造したパンを店舗販売、外販、納品をすることで、障害者の生活や活動に関する認識を広める活動 ウ 地域の行事への参加を通して、障害者と市民の交流を図る活動 エ 当法人が開催する行事を市民向けに開放し、障害者と市民の交流を図る活動 オ 千葉県精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築推進事業並びに構築支援事業（千葉県より受託）	ア 通年で、主に下総精神医療センターと石郷岡病院の、長期入院者の地域移行支援（＝退院支援）、年間で35名の退院支援を行い、うち18名が退院できた。 イ 店舗販売は、ワークショップ鎌取内のペジーブル鎌取店にて行っている。外部での販売は、緑区役所（週１回）、緑保健福祉センターと若葉保健福祉センター（共に週１回程度）、下総精神医療センター（週１回）、リべるたす（週１回）、アビタシオン（週１回）、マリア幼稚園（幼稚園の希望日）、県庁（月１～２回）。納品はこども病院、青葉病院に行っている。 ウ 参加せず（コロナ感染対策として） エ 実施せず（コロナ感染対策として） オ 千葉県精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築推進事業は、連携会議（四方田、末永）、進め隊（末永）（地域移行支援実践等分科会）、広め隊（普及啓発活動・一般市民向け等研修会開催分科会）、深め隊（ピアサポート（精神障害者当事者による精神障害者支援）活動普及啓発分科会）を実施。 同構築支援事業は、地域密着アドバイザー（末永）（当事業の普及啓発や活動推進に関するアドバイザー）と、構築推進サポーター（末永）（地域移行支援のOJT（経験者のサポーターが、未経験の一般相談支援事業所の職員に実際の地域移行支援を共に行う）を行っている。	R４年度取組状況の通り。R５年度も継続して取り組む計画。各項目のうち、R５年度の特記事項を以下に記す。 アは３０名の地域移行支援（退院支援）を目標とする。 イのうち外販先に関して。かつて外販先だった千葉リハビリテーションセンターは、コロナ感染対策以降、現在も外販できずにいる。年度中か次期の外販再開を期待している。 ウ 今年度も感染対策は継続中。 エ 感染対策を継続中。 オ 構築推進事業連携会議（四方田、末永）、地域密着アドバイザー（末永）、構築推進サポーター（末永） ・進め隊（末永）において、地域移行支援手順書を作成中。千葉県としての標準的な手順書（マニュアル）を作成し市内の相談支援事業所や精神科医療機関、行政と共有することで、地域移行支援の普及を図る。手順書の原案は末永が作成した。 ・広め隊に（山本）が幹事として参加。鎌取相談支援センターとして“にも包括”への参画者を増やし、より地域貢献を果たしたい。	ワークショップ鎌取のパン店舗は、公道から敷地内に踏み入る立地であり、かつパン店舗と気づきにくい外観をしている。公道に面して、地域住民が気軽に立ち寄れるパン店舗の展開をしたい。パン店舗と工房で精神障害者が働く場とすることで、病院に入院中の精神障害者にとっての退院後の働く姿のモデルにもなり、近隣住民にも魅力的なパン店舗とすることで、おのずと一般市民と精神障害者の交流が生まれる場としたい。 コロナ禍で中断している地域住民との交流活動は再開を期したい。

取組項目 (第５期計画原案の取組番号と取組名)	取組の概要	R４年度取組状況 (いつ、どこで、何を、回数、人数等)	R５年度計画 (いつ、どこで、何を、回数、人数等)	今後の課題
２子ども達の集いの場の提供・情報提供、地域と学校との交流	ア 中学校への福祉教育 イ 中学校のキャリア支援教育への参加（緑区外）	ア 新型コロナウイルスの影響により未実施 イ １１月２５日末広中学校 ９名の生徒に福祉の仕事内容の紹介と障害者体験を実施 １２月６日緑町中学校 ６名の生徒に福祉の仕事内容の紹介と障害者体験を実施	ア セルプ・ガーデンハウス利用者と中学校生徒が交流する福祉教育をＲ５年度中に実施したい旨土気中学校・越智中学校の担当者とは電話にて確認している イ 地域新聞との連携事業で、９月以降に希望する学校との日程調整を行う 緑区内の学校からの希望があれば積極的に参加する	ア・イともコロナ感染状況による
４障害者（児）・その家族が集う場の開設・拡充・情報提供	ア 近隣地域との交流による障害者への理解の促進 イ 障害を持つ人達が当たり前になる風景の促進	ア 新型コロナウイルスの影響により未実施 イ あすみが丘ブランニューモールでの買い物（コロナ感染状況が少ない時期に実施） ５月：６回・１３名 ６月：３回・７名	ア １１月に近隣地域の緑の森工業団地内の企業に働きに来ている人達２０～３０名を対象に普通救命講習会を開催。講習会後に施設見学と福祉講和を行う イ あすみが丘ブランニューモールへ外出し、買い物・お茶等 年間：約１５回・３４名	ア 日程とコロナ感染状況を考えると、Ｒ４年度中の開催は現実的に難しい イ 緑区内の学校からの要請があれば積極的に参加していく
１２防災訓練の充実、意識啓発、体制整備	ア ふれあい福祉フェスティバルの開催 イ 緑区ふるさとまつりでの福祉啓発活動	ア 新型コロナウイルスの影響によりフェスティバル自体は中止したが、これまでのフェスティバルの様子や参加団体の活動内容の写真や作品等をＲ５年１月６日～１月１８日の期間あすみが丘プラザのロビーに展示した イ １１月６日、緑区ふるさとまつりにて福祉啓発ブースを設置。パラスポーツ競技「ボッチャ」の体験会をメインに実施し、約３００人が参加。福祉車両の展示も行っている	ア １０月２１日・２２日に開催予定 土気地域１３の福祉団体で実行委員会を構成し、ステージイベントには一般市民の団体も参加する 参加者・来場者で５００～７００人を見込んでいる イ 緑区ふるさとまつりにて、前年度と同様の内容で実施予定	ア コロナ感染状況により開催可否を判断